

II 農業

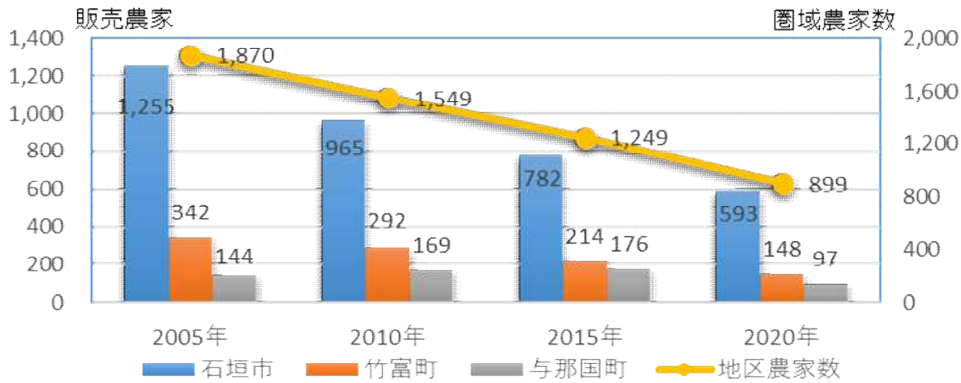
1 農業の概要

(1) 農家数

2020年にける八重山圏域の農家数は899戸で、県全域の約6%を占める。その内、販売農家は838戸おり圏域内に占める割合は93%で、他圏域と比較すると高い割合となっている。

また、主副業別農家では、主業及び準主業の占める割合が、石垣市で51%、竹富町で63%となっており、県全域の割合に比較し高い地域となっている。

■販売農家及び圏域農家数の推移



■2020年農家数に占める販売農家の割合

単位：戸

	総農家数		
	販売農家	自給的農家	
県計	14,747	10,674 (72%)	4,073
北部	3,805	2,789 (73%)	1,016
中部	1,657	650 (39%)	1,007
南部	4,426	2,714 (61%)	1,712
宮古	3,960	3,683 (93%)	277
八重山	899	838 (93%)	61
石垣市	620	593 (96%)	27
竹富町	164	148 (90%)	16
与那国町	115	97 (84%)	18

※資料：農林業センサス

■主副業別経営体数

単位：戸

市町村	計	主業		準主業		副業的
			65歳未満の農業専従者がいる		65歳未満の農業専従者がいる	
2020年 石垣市	586	232 (40%)	214 (92%)	64 (11%)	34 (53%)	290
竹富町	145	83 (57%)	79 (95%)	8 (6%)	5 (63%)	54
与那国町	103	17 (17%)	16 (94%)	28 (27%)	15 (54%)	58
2015年 石垣市	782	303	286 (94%)	135	73 (54%)	344
竹富町	214	123	122 (99%)	27	19 (70%)	64
与那国町	176	45	38 (84%)	64	23 (36%)	67
2010年 石垣市	965	361	335 (93%)	219	126 (58%)	385
竹富町	292	158	147 (93%)	41	22 (54%)	93
与那国町	169	39	29 (74%)	74	41 (55%)	56

※資料：農林業センサス

(2) 年齢別基幹的農業従事者

2020年における八重山の基幹的農業従事者は994名で、65歳以上は56%を占めている。県全域のに比較し緩やかであるが高齢化が進んでいる。

2010年及び2015年と比較すると、年齢別では50～59歳の割合の減少が顕著となっており、若い年齢層が進展していない状況にあり、引き続き担い手の確保は重要な課題となっている。

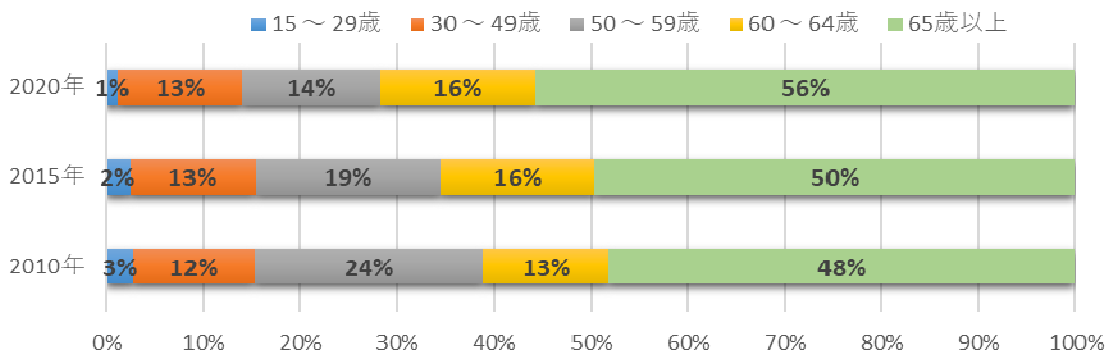
■2020年圏域毎の比較表

単位：人

	計	15～29歳	30～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
県計	13,288	138	1,483	1,729	1,903	8,035 (60%)
北部	3,717	40	506	491	566	2,114 (57%)
中部	957	12	149	101	120	575 (60%)
南部	3,551	47	466	524	481	2,033 (57%)
宮古	4,068	27	235	471	577	2,758 (68%)
八重山	994	12	127	142	159	554 (56%)
石垣市	737	10	88	102	104	433 (59%)
竹富町	173	2	29	27	38	77 (45%)
与那国町	84	0	10	13	17	44 (52%)

※資料：農林業センサス

■八重山圏域における年齢別構成比の年比較表



(3) 耕地面積

八重山の耕地面積は、令和3年で7,716haで、その内、畑は7,246haで約9割りを占め、県全域のとなっている。

一方、八重山の田は463haで、圏域内の6%となっているが、県全域の田の58%を占め、県内における主な米の生産地となっている。

■八重山圏域耕地面積の推移

単位：ha

年	耕地面積	耕地面積	
		田	畑
令和3年	7,716	463	7,246
令和2年	7770	468	7300
令和元年	7800	468	7330
令和30年	7870	468	7400
令和29年	7900	470	7430

※資料：内閣府沖縄総合事務局「沖縄農林水産統計年報」

農林水産省「作物統計調査：令和3年農林水産関係市町村別統計」

■令和3年 耕地面積圏域別比較表

単位：ha

圏域	市町村面積 (km ²)	耕地面積	耕地面積	
			田	畑
県計	2,282.2	36,500	800	35,700
北部	788.2 (35%)	6,787 (19%)	291 (36%)	6,491 (18%)
中部	283.4 (12%)	2,096 (6%)	28 (4%)	2,068 (6%)
南部	392.2 (17%)	8,336 (23%)	17 (2%)	8,329 (23%)
宮古	225.9 (10%)	11,588 (32%)	0	11,588 (32%)
八重山	592.5 (26%)	7,716 (21%)	463 (58%)	7,246 (20%)
石垣市	229.2 (39%)	5,300 (69%)	318 (69%)	4,980 (69%)
竹富町	334.4 (56%)	1,910 (25%)	85 (18%)	1,820 (25%)
与那国町	28.9 (5%)	506 (7%)	60 (13%)	446 (6%)

※資料：農林水産省「作物統計調査：令和3年農林水産関係市町村別統計」

(4) 経営耕地面積

各圏域の耕地面積規模毎に経営体数の割合を比較すると、当圏域は、2ha以上を有する経営体の割合が他の圏域よりも高く、石垣市では経営体の約5割、竹富町では約8割、与那国町では約4割に達し、経営する耕地面積が大きいのが特徴である。

■令和2年 経営耕地面積規模別経営体数

単位：経営体

市区町村	計	経営耕地なし	1ha未満	1.0～2.0ha	2.0～3.0ha	3.0～5.0ha	5.0ha以上
県計	11,310	229	5,484	2,712	1,202	939	744
北部	3,016 (100%)	62 (2%)	1,831 (61%)	608 (20%)	213 (7%)	171 (6%)	131 (4%)
中部	743 (100%)	52 (7%)	538 (72%)	91 (12%)	26 (3%)	21 (3%)	13 (2%)
南部	2,893 (100%)	65 (2%)	1,908 (66%)	450 (16%)	145 (5%)	120 (4%)	203 (7%)
宮古	3,772 (100%)	38 (1%)	1,035 (27%)	1,381 (37%)	690 (18%)	435 (12%)	193 (5%)
八重山	886 (100%)	12 (1%)	169 (19%)	182 (21%)	127 (14%)	192 (22%)	204 (23%)
石垣市	627 (100%)	9 (1%)	119 (19%)	147 (23%)	83 (13%)	134 (21%)	135 (22%)
竹富町	151 (100%)	1 (1%)	12 (8%)	13 (9%)	28 (19%)	45 (30%)	52 (34%)
与那国町	108 (100%)	2 (2%)	38 (35%)	22 (20%)	16 (15%)	13 (12%)	17 (16%)

※資料：農林業センサス

(5) 沖縄県市町村別農業産出額

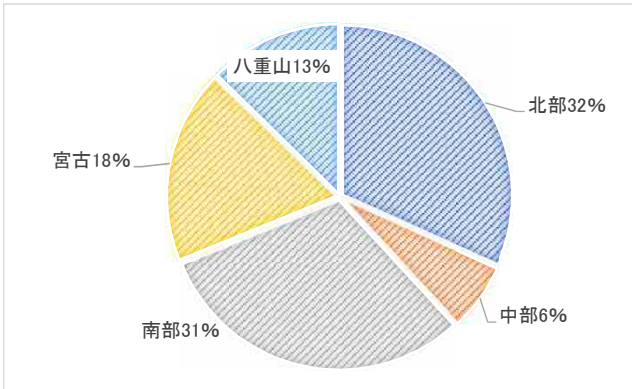
令和元年沖縄県市町村別農業産出額

単位：1,000万円

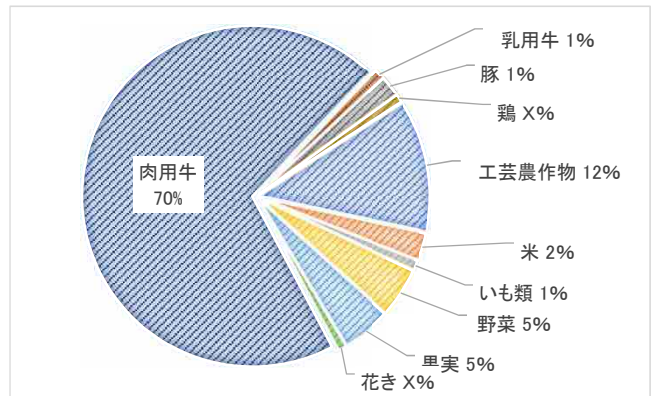
市町村	農業 産出額 ①+②+③	耕 種									畜 産					加 工 農産物 ③	
		小 計 ①	米	豆 類	いも類	野 菜	果 実	花 き	工 芸 農作物	その他 作 物	小 計 ②	肉用牛	乳用牛	豚	鶏		その他 畜産物
県 計	9,776	5,185	49	4	106	1,465	603	252	1,917	0	4,588	2,390	345	1,210	504	11	3
北 部	3,103	1,659	17	1	26	392	359	166	320	0	1,443	520	47	453	339	8	1
中 部	627	350	0	0	24	136	30	21	61	0	279	147	14	32	44	1	0
南 部	3,001	1,603	0	1	36	691	78	64	443	0	1,397	303	272	701	110	2	0
宮 古	1,806	1,229	0	2	8	188	78	1	939	0	576	563	0	0	11	0	2
八重山	1,239	344	32	0	12	58	58	0	154	0	893	857	12	24	0	0	0
石垣市	982	269	26	-	12	42	51	x	110	x	713	677	12	24	0	0	0
竹富町	186	36	5	0	0	7	6	0	16	x	149	149	-	-	-	-	0
与那国町	71	39	1	-	-	9	1	-	28	x	31	31	-	0	0	0	0

※資料：農林水産省「市町村別農業産出額」

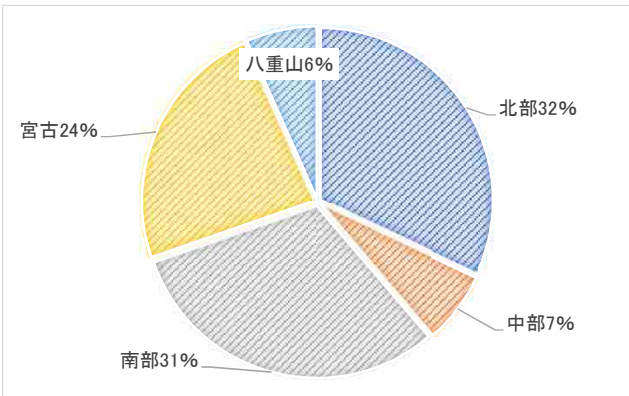
● 図1：圏域別農業産出額比較表(割合)



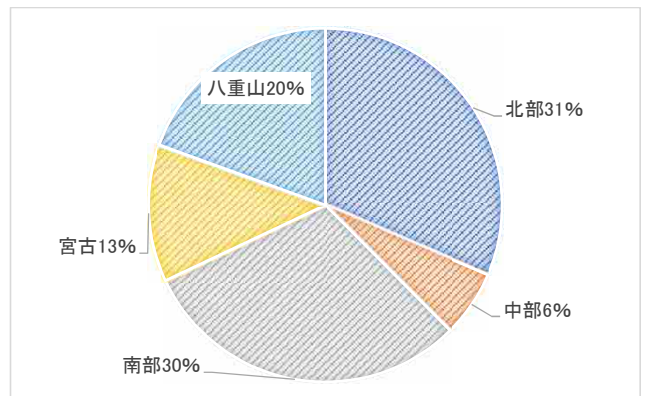
● 図2：八重山圏域品目別農業産出額比較表(割合)



● 図3：圏域別耕種産出額比較表(割合)



● 図4：圏域別畜産産出額比較表(割合)



2 農作物

(1) さとうきび

- 八重山地域における令和2/3年期のさとうきび生産量は118,074 tで、前期に対して22,347 tの増加となった。県全体に占める生産量の割合は14.5%であり、前年より0.3%増加した。収穫面積は1,890haと前期より33ha増加し、10a当たりの収量は6,246kgと前期より1,091kg増加した。作型別では、八重山地域全体の生産量に占める夏植の割合は47.0%（前期42.7%）、春植11.0%（前期8.2%）、株出42.0%（前期49.1%）であり、株出の割合が4割を占めている。台風被害に強く安定した収入が確保できる夏植を主流とし、土壌害虫等に対して効果的な防除農薬の普及と、株出し管理技術の定着により安定した株出栽培が可能となった。
- さとうきび原料の工場買い入れ価格は、平成6年度から甘蔗糖度を基準とした品質取引へと移行された。八重山地域の平均甘蔗糖度は、分みつ糖が14.5度、含みつ糖15.1度で、平均が14.7度となり、前年とほぼ同等であった。八重山地域の農家手取額はトン当たり22,624円となり、前期の22,520円より増額となった。

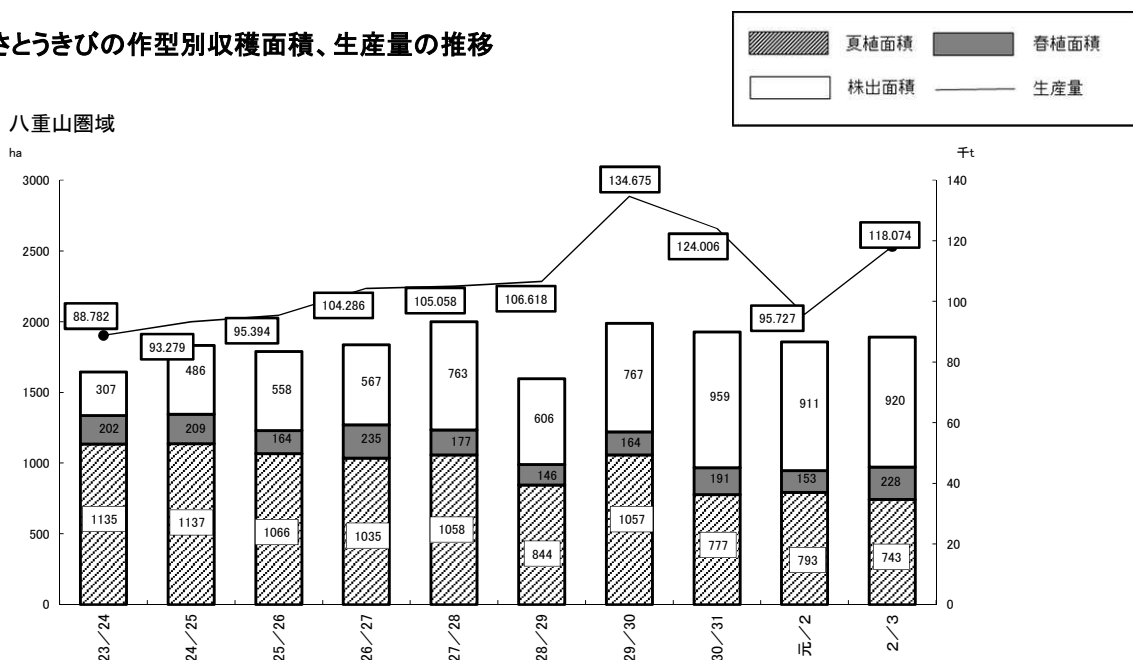
令和2/3年期 さとうきび作型別生産実績

工場名	夏植			春植			株出			合計			前期(R1/2)合計		
	収穫面積 (ha)	単収 (kg/10a)	生産量 (t)	収穫面積 (ha)	単収 (kg/10a)	生産量 (t)	収穫面積 (ha)	単収 (kg/10a)	生産量 (t)	収穫面積 (ha)	単収 (kg/10a)	生産量 (t)	収穫面積 (ha)	単収 (kg/10a)	生産量 (t)
県計	3,415 (26.5)	7,932	270,831 (33.3)	1,414 (11.0)	5,226	73,915 (9.1)	8,042 (62.5)	5,833	469,108 (57.6)	12,871 (100.0)	6,323	813,858 (100.0)	12,901 (100.0)	5,239	675,827 (100.0)
沖縄本島	252 (10.3)	6,526	16,437 (13.1)	377 (15.4)	4,471	16,851 (13.5)	1,824 (74.4)	5,043	91,972 (73.4)	2,453 (19.1)	5,107	125,260 (15.4)	2,419 (18.8)	4,376	105,882 (15.7)
石垣島製糖	487 (36.5)	7,811	38,039 (44.4)	202 (15.1)	5,854	11,830 (13.8)	647 (48.4)	5,532	35,789 (41.8)	1,336 (10.4)	6,412	85,658 (10.5)	1,296 (10.0)	5,176	67,102 (9.9)
竹富町小浜製糖工場	33 (48.5)	6,607	2,148 (55.8)	6 (8.8)	5,353	308 (8.0)	30 (44.1)	4,628	1,396 (36.2)	68 (0.5)	5,629	3,852 (0.5)	58 (0.4)	4,260	2,452 (0.4)
西表糖業	67 (37.9)	7,866	5,255 (45.9)	15 (8.5)	4,541	692 (6.0)	95 (53.7)	5,830	5,513 (48.1)	177 (1.4)	6,489	11,459 (1.4)	179 (1.4)	5,849	10,465 (1.5)
波照間製糖	126 (60.3)	6,929	8,732 (69.1)	2 (1.0)	4,842	108 (0.9)	80 (38.3)	4,735	3,805 (30.1)	209 (1.6)	6,061	12,645 (1.6)	216 (1.7)	5,280	11,381 (1.7)
JA与那国製糖工場	30 (29.7)	4,336	1,320 (29.6)	2 (2.0)	3,901	85 (1.9)	68 (67.3)	4,482	3,055 (68.5)	101 (0.8)	4,425	4,460 (0.5)	109 (0.8)	3,984	4,327 (0.6)
八重山計	743 (39.3)	7,471	55,494 (47.0)	228 (12.1)	5,725	13,024 (11.0)	920 (48.7)	5,386	49,557 (42.0)	1,890 (14.7)	6,246	118,074 (14.5)	1,857 (14.4)	5,155	95,727 (14.2)

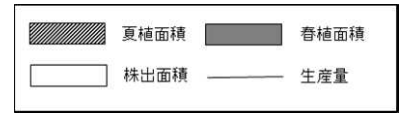
資料：「さとうきび及び甘しょ糖生産実績」 沖縄県農林水産部 令和3年8月

注：(斜体)は、合計は県計に対するもので、作型別は各地域内の比率である。四捨五入による端数調整のため合計と内訳が合わない場合がある。

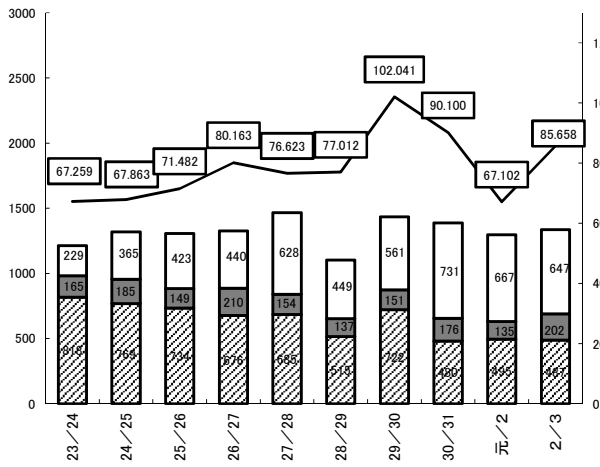
さとうきびの作型別収穫面積、生産量の推移



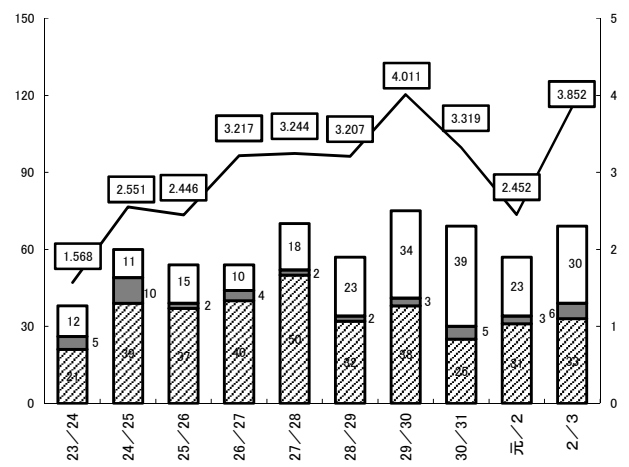
地域別の推移



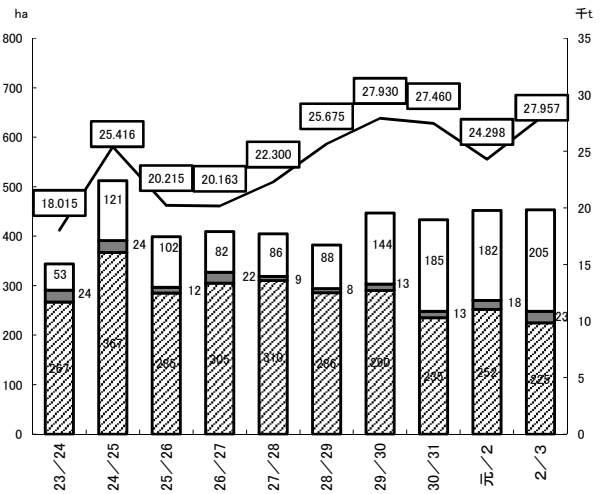
ha 石垣市



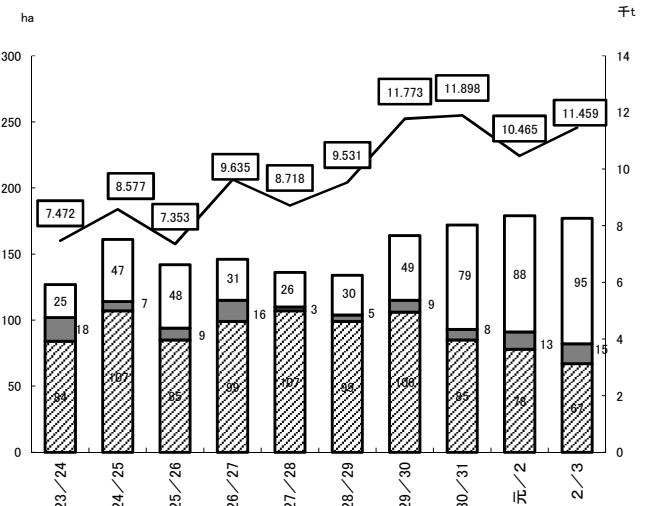
千t ha 小浜島



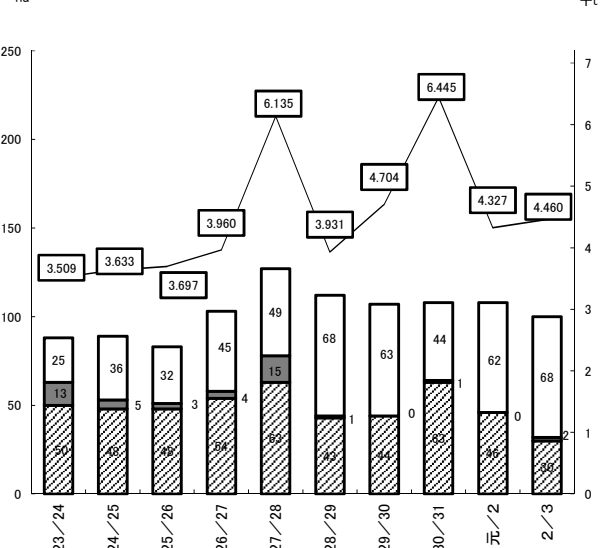
竹富町



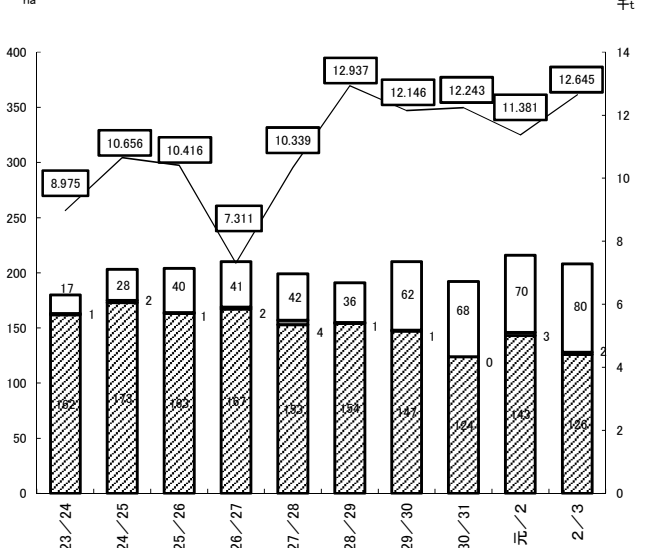
西表島



与那国町



波照間島



資料:「さとうきび及び甘しや糖生産実績」 沖縄県農林水産部 令和3年8月

令和2/3年期 製糖実績

単位: t

工場名	製糖期間			製糖実績			前期(R1/2)実績		
	製糖開始	製糖終了	製糖日数	原料処理量	歩留(%)	産糖量	原料処理量	歩留(%)	産糖量
県計	—	—	—	813,853	11.79	95,928	675,827	11.93	80,647
石垣島製糖	R2.12.9	R3.4.22	135	85,658	12.26	10,498	67,102	12.15	8,153
JA小浜製糖工場	R3.1.19	R3.4.2	73	3,852	12.35	476	2,452	13.33	327
西表糖業	R2.12.5	R3.4.24	135	11,459	13.07	1,498	10,465	14.51	1,519
波照間製糖	R3.1.10	R3.5.14	125	12,645	15.44	1,952	11,381	14.66	1,668
JA与那国製糖工場	R2.12.10	R3.3.25	105	4,460	10.93	488	4,327	10.91	472
八重山計	—	—	—	118,074	12.81	14,912	95,727	13.11	12,139

資料:「さとうきび及び甘しゅ糖生産実績」沖縄県農林水産部 令和3年8月

令和2/3年期 さとうきび品質取引実績

工場名	甘蔗糖度(度)			甘蔗糖度区分ごとの重量、比率(t、%)							
				13.0度以下		13.1~13.6		13.7~14.3		14.4度以上	
	平均	最低	最高	重量	比率	重量	比率	重量	比率	重量	比率
県計	14.6	8.0	21.6	78,458	9.6	90,374	11.1	165,898	20.4	479,124	58.9
石垣島製糖	14.5	10.1	18.5	8,808	10.3	10,478	12.2	18,915	22.1	47,456	55.4
JA小浜製糖工場	13.9	9.4	17.4	761	19.7	707	18.3	992	25.7	1,393	36.2
西表糖業	14.7	11.3	18.0	691	6.0	1,119	9.8	2,306	20.1	7,343	64.1
波照間製糖	16.6	13.0	19.0	5	0.0	13	0.1	147	1.2	12,480	98.7
JA与那国製糖工場	12.8	8.9	16.5	2,561	57.4	776	17.4	749	16.8	373	8.4
八重山計	14.7	8.9	19.0	12,826	10.9	13,094	11.1	23,108	19.6	69,046	58.5

資料:「さとうきび及び甘しゅ糖生産実績」沖縄県農林水産部 令和3年8月

さとうきび平均農家手取額の推移(円/トン)

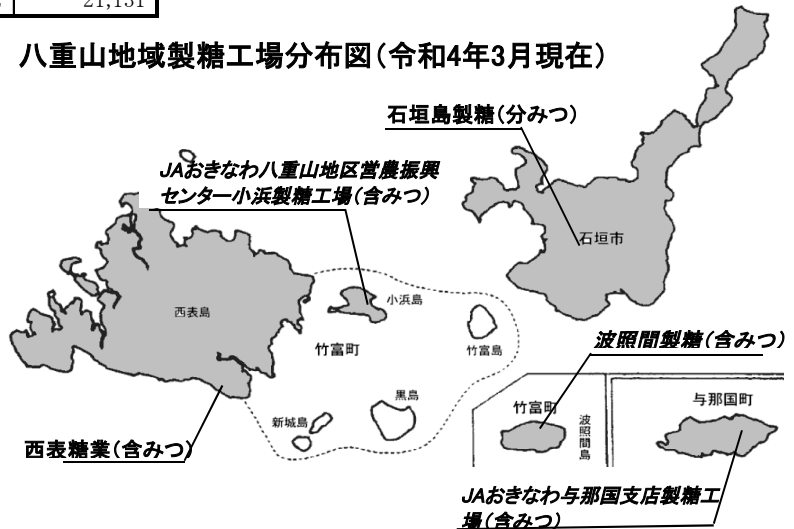
年期	分みつ糖(石垣市)		含みつ糖(竹富町)	含みつ糖(与那国町)
	計	甘味資源作物交付金※		
27/28	20,378	16,420	20,851	18,260
28/29	22,638	16,420	22,123	19,346
29/30	21,953	16,420	20,337	20,738
30/31	22,097	16,630	22,164	20,993
元/2	22,617	16,730	25,048	20,817
2/3	22,771	16,860	22,412	21,131

※基準糖度帯(13.1~14.3度)の単価

資料:「さとうきび及び甘しゅ糖生産実績」「糖業年報」

沖縄県農林水産部 令和3年8月

八重山地域製糖工場分布図(令和4年3月現在)

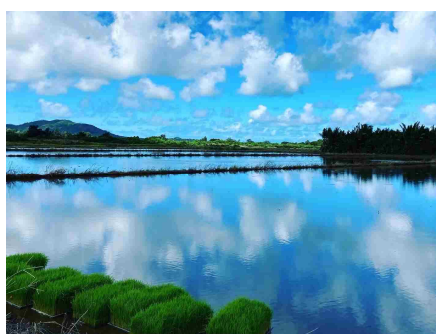


(2) 水 稲

八重山地域は、県内稲作の主要産地である。令和2年の水稲作付面積は一期、二期合わせて443haと県全体の68.2%を占め、収穫量は1,400tと県全体の67.0%を占めている。

一期作の10a当たり収量は359kgで、県平均の367kgよりは低い。二期作は9月上旬までの植え付けのため台風被害を受ける可能性が高く、収量・歩留まりが低い等の理由により、近年では一期作の3割程度の作付となっている。

温暖な気候を活かし、一期作は6月に新米を出荷できる「超早場米」として、他の産地より有利販売が可能である。主要品種は食味に優れた「ひとめぼれ」が生産されており、西表地区では平成26年二期作より、低アミロース品種である「ミルキーサマー」の栽培に取り組んでおり、ブランド化が期待される。消費者の食の安全性への関心の高まりもあり、エコファーマー認定、特別栽培農産物の認証を受けるなど、多様な消費者ニーズに対応した米作りが行われている。



田植前の風景



主要品種:ひとめぼれ

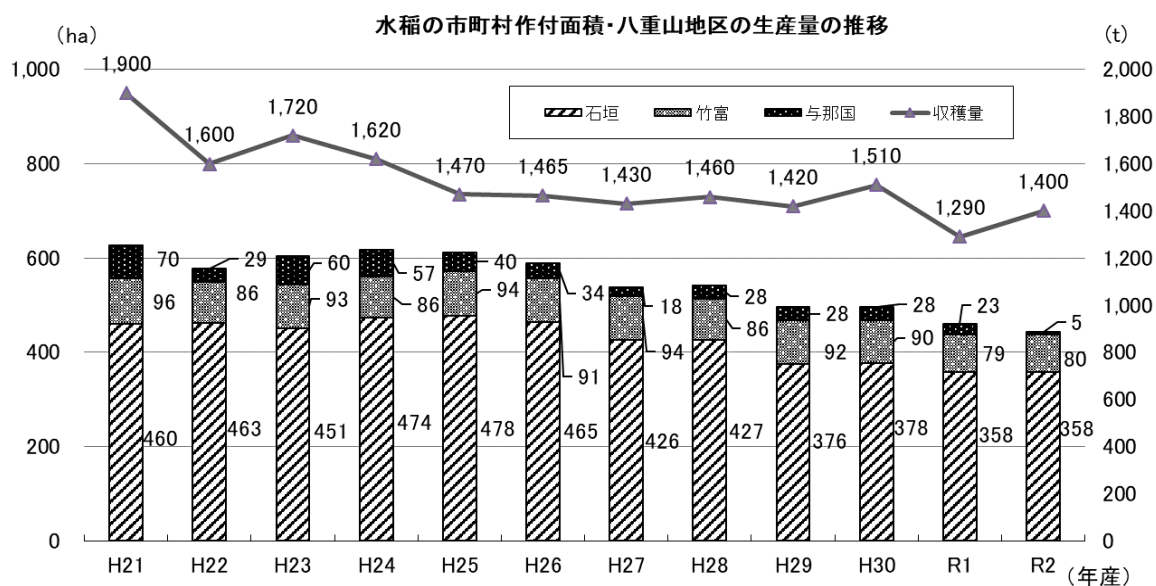
令和2年産水稲の生産実績

	作付面積(ha)			10aあたり収量(kg)			収穫量(t)		
	計	1期作	2期作	平均	1期作	2期作	計	1期作	2期作
県計	650	479	171	322	367	197	2,090	1,760	337
石垣市	358	266	92	317	368	168	1,130	979	154
竹富町	80	68	12	317	329	245	251	223	29
与那国町	5	5	-	268	268	-	13	13	-
八重山計	443 (68.2)	339 (70.8)	104 (60.8)	316	359	177	1,400 (67.0)	1,220 (69.3)	184 (54.6)

資料: 第49次沖縄農林水産統計年報

注: 斜体は県計に占める割合

水稲の作付面積と生産量の推移



資料: 第49次沖縄農林水産統計年報

(3) 野菜

八重山地域の野菜生産は、平成5年のウリミバエ根絶を契機に、温暖な気候特性を活かした冬春期の県外市場への端境期出荷を中心に進展してきた。近年はオクラ、かぼちゃ、ゴーヤー、さやいんげん等が県外へ出荷されており、令和2年度のJAおきなわ八重山地区営農振興センターの上記4品目の出荷実績は約266t、194,658千円となっている。JA系統外ではピーマンやきゅうりの出荷も増加している。平成18年に石垣市のオクラが、平成26年に竹富町のかぼちゃが拠点産地に認定され、生産部会と産地協議会を中心に、生産性向上と八重山ブランドの確立に向けて取り組んでいる。

また平成23年にはJAファーマーズマーケット「ゆらていく市場」が開設され、より新鮮で多様な野菜の地域内への供給が可能になった。令和2年度の野菜類販売額は181,665千円で、地産地消の推進と地域経済の活性化に大きく寄与している。

令和2年産主要出荷品目の栽培面積と県外出荷量

品 目	オクラ	かぼちゃ		ゴーヤー	さやいんげん
		石垣市	竹富町		
産 地	石垣市	石垣市	竹富町	石垣市	石垣市
栽培面積 (ha)	9.9	6.0	10.0	2.5	0.4
出荷量 (t)	89.1	39.6	73.8	57.7	5.9

※JAおきなわ八重山地区営農振興センター取扱量(令和2年4月～令和3年3月)



オクラ



かぼちゃ



ゴーヤー



さやいんげん

(4) 果 樹

主要品目のマンゴーは、近年リース事業の導入等で栽培面積が増加しており、令和元年では結果樹面積31ha、収穫量180tとなっている。その多くが個撰個販で、樹上完熟させた高品質の果実を宅配便等を利用して消費者に直接届けている。平成20年に発足した八重山マンゴー研究会では、技術向上のための勉強会や現地視察が定期的に開催され、収量や品質が向上している。平成25年にはJAマンゴー部会も設立され、全員がエコファーマー認定を受けるなど独自の取組を進めている。他にもバナナ、パパイヤ、ドラゴンフルーツ(ピタヤ)、パッションフルーツといった多様な熱帯果樹が栽培されている。



マンゴー栽培状況

八重山圏域主要果樹(パイナップルを除く)の生産の推移

単位:ha、t

	バナナ			パパイヤ			マンゴー		
	結果樹面積	収穫量	出荷量	結果樹面積	収穫量	出荷量	結果樹面積	収穫量	出荷量
平成27年	6	48	48	1	13	13	24	209	209
平成28年		41	41		6	6	26	132	126
平成29年	6	40	40	1	6	6	27	216	216
平成30年	6	38	38	1	5	5	26	153	153
令和元年	6	41	41	1	6	6	31	180	179

	ドラゴンフルーツ			パッションフルーツ			シークワサー		
	結果樹面積	収穫量	出荷量	結果樹面積	収穫量	出荷量	結果樹面積	収穫量	出荷量
平成27年	2	38	38	3	16	16	0	18	18
平成28年	2	28	28	3	11	11	0	0	0
平成29年	2	29	29	3	11	11	0	0	0
平成30年	2	29	29	3	10	10	0	0	0
令和元年	2	29	29	3	11	11	0	0	0

資料:「沖縄県の園芸・流通」沖縄県農林水産部 令和4年1月

(5) パインアップル

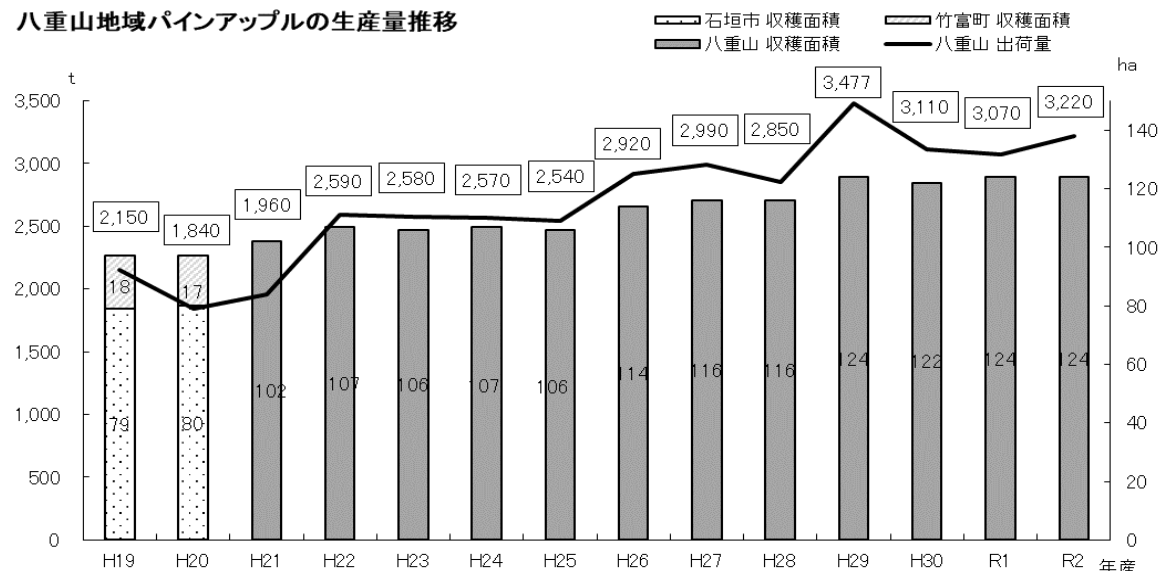
八重山産（主に石垣島、西表島）パインアップルは加工場の閉鎖により一時衰退傾向であった。しかしながら、近年は生食用パインアップルの需要の増加に合わせ、栽培面積、出荷量ともに増加し、平成29年以降は3千トンを上回った生産が続いている。県内生産に占める八重山産の割合は、収穫面積で38.8%、出荷量で44.9%であり、その大半が生食向けである。栽培品種はボゴール、ソフトタッチ（ピーチパイン）、ハワイ種（N67-10等）が主であるが、品種の育成も進み、ジュリオスター、ゴールドバレル、沖農P17（商標名：サンドルチェ）といった新品种の種苗が徐々に供給され、品種構成が多様化している。

令和2年産パインアップル生産状況

	収穫面積 (ha)	10a当たり 収量(kg)	収穫量 (t)	出荷量(t)		
				計	生食向け	加工向け
県計	320	2,310	7,390	7,210	4,990	2,220
沖縄本島	194	2,070	4,020	3,950	1,880	2,070
八重山	124 (38.8)	2,680	3,320 (44.9)	3,220 (44.7)	3,070 (61.5)	152 (6.8)

資料:「沖縄県の園芸・流通」沖縄県農林水産部 令和4年1月 注:(斜体)は県計に占める割合

八重山地域パインアップルの生産量推移



資料:「沖縄県の園芸・流通」沖縄県農林水産部 令和4年1月 注:平成21年産以降、市町村別は公表されていない

パインアップル主要品種の特徴

	ハワイ種	ソフトタッチ	ボゴール
収穫期	6月中旬～8月上旬	5月中旬～7月上旬	5月下旬～7月上旬
平均果実重	約1,000g	約800g	約800g
果形	たる型	たる型	たる型
果肉	黄白色	帯黄白色	黄色
食味	糖度は15%、酸度は0.9% 甘酸っぱい食味で、果汁が豊富	糖度は17%、酸度は0.7% 桃のような独特の香りがあり、さわやかな食味が特徴	糖度は17%、酸度は0.8% 酸の抜けがよいため、甘みを強く感じる
栽培	栄養芽の発生がよいため、2回収穫が可能。花芽誘導処理は効きにくい	栄養芽の発生がよいため、2回収穫が可能。花芽誘導処理が効きやすい	栄養芽の発生がよいため、2回収穫が可能。花芽誘導処理が効きやすい
その他	加工生食用。沖縄県の主要な栽培品種	生食用。黒目症発症率が他品種より高い	生食用。草本や冠葉にとげがある
	ジュリオスター	ゴールドバレル	沖農P17
収穫期	6月下旬～9月中旬	5月下旬～7月上旬	5月上旬～8月中旬
平均果実重	約1,200g	約1,400g	約1,100g
果形	たる型	円筒型	たる～円筒形
果肉	黄白色	黄色	黄白色
食味	糖度16%、酸度は0.6% 果汁がよく食味が良い。	糖度16.5%、酸度は0.5% 糖酸比が高く、肉質も軟らかい。	糖度は19%、酸度は0.6% 極高糖で食味がよいのが特徴
栽培	栄養芽でえい芽は多いが、吸芽は少ない。花芽誘導処理は効きやすい。	栄養芽の発生が少ないため、種苗の確保が困難。花芽誘導処理は効きやすい	栄養芽の発生がよいため、2回目収穫が可能。花芽誘導処理が効きやすい
その他	生食用。黒目症、花権病の発生が少ない。	生食用。県産のバインで最も高価格で販売されている品種	生食用。耐倒伏性があることから栽培性に優れる

資料提供:農業研究センター石垣支所

(6) 花き

八重山地域の花き生産は、温暖な気候を活かし、レッドジンジャー、ヘリコニア、洋ラン、切葉類等の夏季県外出荷品目を中心に取り組まれている。令和元年の花き栽培面積は10.6haで、切り花類の出荷数量が70.8万本であり、出荷数量は前年よりも減少した。

石垣市はヘリコニア、レッドジンジャーの県内有数の産地であり、平成19年に拠点産地に認定された。品質の高さは市場からも高い評価を得ている。洋ランは、デンファレを中心とした施設栽培が行われ、島内需要も高い。

平成25年3月の新石垣空港の開港に伴い、「南国の花でいっぱいの石垣島」を観光客へPRしている。

八重山地域花き類生産実績の推移

単位：a、千本、千円

種類名	H27年産			H28年産			H29年産			H30年産			R1年産		
	作付面積	出荷数量	出荷額	作付面積	出荷数量	出荷額	作付面積	出荷数量	出荷額	作付面積	出荷数量	出荷額	作付面積	出荷数量	出荷額
デンファレ	2	42	2,121	2	38	1,919	20	40	1,970	95	46	2,162	125	17	1,700
洋ラン類小計	2	42	2,121	2	38	1,919	20	40	1,970	95	46	2,162	125	17	1,700
ストレチア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘリコニア	447	1,039	23,411	447	1,032	28,350	447	883	25,879	447	852	25,756	194	297	9,263
レッドジンジャー類	387	296	20,657	387	306	21,368	387	325	22,708	387	311	21,535	465	160	15,853
ウイキョウ	50	73	3,663	50	70	3,613	26	32	1,657	26	30	1,567	47	27	1,731
一年草・多年草小計	884	1,408	47,731	884	1,408	53,331	860	1,240	50,244	860	1,193	48,858	706	484	26,847
アレカヤシ	28	15	420	28	10	35	40	23	81	40	22	75	0	0	0
ドラセナ類	148	233	9,196	148	247	9,750	132	185	7,414	132	176	7,511	111	129	5,894
タニワタリ	10	10	170	10	4	68	12	9	151	12	9	154	7	9	405
オクラレルカ	3	3	68	3	3	65	1	1	20	1	1	20	0	1	12
糸芭蕉	50	11	350	50	9	286	26	5	26	26	5	164	5	2	167
その他葉もの	77	48	859	77	55	984	62	51	933	62	53	961	105	66	3,657
葉もの小計	316	320	11,063	316	328	11,188	273	274	8,625	273	266	8,885	228	207	10,135
クルクマ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アマゾンリリー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
球根切花類小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他切花類小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
①切花類計	1,202	1,770	60,915	1,202	1,774	66,438	1,153	1,554	60,839	1,228	1,505	59,905	1,059	708	38,682
②鉢物類計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計 (①+②)	1,202	1,770	60,915	1,202	1,774	66,438	1,153	1,554	60,839	1,228	1,505	59,905	1,059	708	38,682

資料：「沖縄県の園芸・流通」 沖縄県農林水産部 令和4年1月



ヘリコニア栽培状況



レッドジンジャー栽培状況



(7) 葉たばこ

八重山（石垣市）の令和3年度葉たばこの収穫量は前年比26%（25t）の増加となっており、生産額は前年比で約10%（19,701千円）増加している。

過去直近3年平均との比較では、収穫量は約5%（5t）増、生産額は1%（2,366千円）の増となっている。



葉たばこ栽培状況（石垣市）

令和3年度葉たばこの生産状況

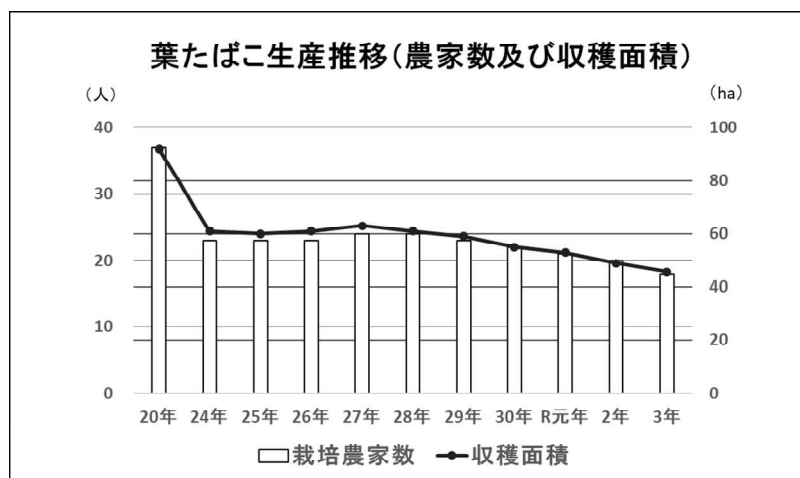
項目 地域別	栽培農家数 (人)	収穫面積 (ha)	収穫量 (t)	10a当たり 収量(kg)	1kg当たり 平均価格(円)	生産額 (千円)
県計	(100.0%) 195	(100.0%) 728	(100.0%) 1,687	232	1,944	(100.0%) 3,280,106
八重山 (石垣市)	(9.2%) 18	(6.3%) 46	(7.3%) 123	270	1,824	(6.9%) 225,066
宮古島市	(52.3%) 102	(55.9%) 407	(56.5%) 954	234	1,945	(56.5%) 1,854,841
多良間村	(4.6%) 9	(3.0%) 22	(3.2%) 54	249	1,928	(3.1%) 103,243
本島 (伊江島・久米島含む)	(33.8%) 66	(34.8%) 254	(33.0%) 556	219	1,972	(33.4%) 1,096,957

資料：沖縄県糖業農産課

葉たばこの生産の推移(石垣市)

項目 年次	栽培農家数 (人)	収穫面積 (ha)	収穫量 (t)	10a当たり 収量(kg)	1kg当たり 平均価格(円)	生産額 (千円)
24年	23	61	121	197	1,975	238,118
25年	23	60	120	199	2,090	250,851
26年	23	61	132	218	1,991	263,719
27年	24	63	91	146	2,137	195,361
28年	24	61	121	198	2,003	241,726
29年	23	59	133	244	1,824	242,001
30年	22	55	135	244	1,702	229,450
R元年	21	53	120	224	1,952	233,286
2年	20	49	98	201	2,102	205,365
3年	18	46	123	270	1,824	225,066

資料：沖縄県糖業農産課



(8)かんしょ

石垣市では、平成19年に石垣市甘しょ産地協議会が発足し、石垣島甘しょ生産組合を中心に生産者の組織強化や品種の選定などが取り組まれた。平成23年に「沖夢紫」の普及拡大を目指し、菓子製造業者の呼び掛けで「第1回沖夢紫生産者親睦交流会」が開催され、生産気運が高まった。平成29年3月に生産組合が石垣市甘しょ生産組合として再結成され、同年5月に石垣市は県奨励品種の紅イモ「沖夢紫」等のかんしょを対象品目とした拠点産地に認定された。平成29年8月に新加工施設が整備され現在に至っている。令和2年度は栽培面積32.3ha(対前年比116%)、収穫量402t(対前年比131%)と増加し、単収は1.2tとなった。しかしながら、新型コロナウイルスの影響による観光客の減少に伴い、加工品販売が激減した。そのため令和3年は植付面積、収穫量、生産者数が大きく減ることが予想される。



かんしょ「沖夢紫」の栽培状況と収穫したイモ

石垣市かんしょ生産実績の推移

	H29	H30	R1	R2
栽培面積 (ha)	12.0	17.5	27.9	32.3
収穫量 (t)	121	199	306	402
平均単収 (t/10a)	1.0	1.1	1.1	1.2

資料: 石垣市農政経済課

(9) ボタンボウフウ(長命草)

日本の最西端に位置する与那国島では、古くから祭事の供え物として用いられてきたボタンボウフウ(長命草)を平成16年から9戸の農家で経済栽培を開始し、平成18年3月には薬用作物部門で拠点産地認定を受けた。

平成20年に農業生産法人が設立された後、平成22年には与那国島長命草生産組合が結成されたことに加え、栽培から乾燥作業までの工程を島内で行う生産加工体制が整ったことにより、生産量も拠点産地認定後から約6倍(平成18年度生産量を基準)まで増加し、ボタンボウフウの一大産地となっている。

なお、農業生産法人と農家間の契約栽培は終了し、令和3年度以降は農業生産法人による自社生産へと転換している。



ボタンボウフウの栽培状況

与那国町ボタンボウフウ生産実績の推移

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
生産農家戸数(戸)	50	50	55	60	60	60	60	60	60	48
栽培面積 (ha)	15	25	27	27	27	27	27	22	20	15
生産生産量 (t)	153	220	334	263	354	295	299	373	370	149

資料: 与那国町役場産業振興課

3 畜 産

- (1) 当地域の畜産は、恵まれた亜熱帯気候と広大な草地面積の確保により、農業算出額の約60%を占める基幹産業として順調に発展している。
特に肉用牛は国内外からの旺盛な食肉需要を反映して産出額が好調に推移している。石垣牛は観光客への人気も高く、平成20年にはJAおきなわの「石垣牛」が、特許庁より地域団体商標(地域ブランド)を取得しており、令和2年度のJA石垣牛販売実績は855頭、約8億円であった。令和3年3月に(株)八重山食肉センターは、牛と畜解体、内臓処理、部分肉加工の部門で製品の安全性を確保する管理手法HACCPの認証を受けており、今後も海外輸出向けHACCP等の認定・認証取得を目指している。
- (2) 令和2年の沖縄県の農業産出額は910億円となっており、うち畜産部門は397億円で約43%を占めている。畜産部門は前年に比べ62億円減少しており、特に肉用牛において、新型コロナウイルス感染拡大による需要減退で、子牛セリ価格が低下したこと等が影響したと考えられる。畜産部門の構成比は、肉用牛50% (198億円)、豚29% (115億円)、その他畜産21% (84億円) となっている。
- (3) 肉用牛の流通面においては、指定市場の八重山家畜市場(石垣市)と黒島家畜市場(竹富町黒島)の2市場で生体取引が行われ、取引される子牛は九州地方を中心に県外へと移出されている。令和2年度の取引実績は八重山家畜市場が8,281頭、黒島家畜市場が935頭であった。八重山地域で生産される牛は、粗飼料の利用性や発育性に優れ、今日の和牛に求められている高い産肉能力と良好な肉質を兼ね備えた肥育素牛として高く評価されている。
- (4) 当地域には多くの未利用地・低利用地があったことから、昭和51年から大型畜産基地建設事業が実施され大規模な草地基盤の整備が図られてきた。平成5年度から21年度まで畜産基盤再編総合整備事業(旧公社営畜産基地建設事業)を実施した。
また、平成25年度から28年度まで畜産担い手育成総合整備事業の「やいま地区(石垣市)」において新たに100頭規模の肥育牛舎等を整備した。さらに竹富町において、平成29年度から「サミン地区」、平成30年度から「美ら島地区」をいずれも7年計画で整備する。
- (5) 家畜防疫衛生については、管内では法定伝染病である牛バベシア病を媒介するオウシマダニが過去、広域に生息しており、肉用牛振興の大きな生産阻害要因となっていた。そのため昭和46年以降、国庫補助による沖縄牧野ダニ撲滅対策事業等の長期かつ大規模な防除対策が展開され、平成8年には悲願であったオウシマダニの完全撲滅が達成された。その成果として、肉用牛の飼養頭数は右肩上がりに増頭に転じ、県内一の肥育素牛供給産地となった。
また、令和2年1月、本島中部にて県内33年ぶりとなる豚熱が発生した。続発により7例の発生と関連施設10農場で防疫措置が実施され、12,381頭が殺処分される事態となった。特定家畜伝染病である口蹄疫や豚熱・アフリカ豚熱は、近隣諸国で散発的な発生が確認されており、これらの発生国からのクルーズ船や定期便、チャーター便は、現在、世界的な新型コロナ感染症の拡大を受け寄港が停止しているものの、その再開にあたっては家畜伝染病の侵入リスクが高まることから、引き続き初動対応も含めた危機管理体制を強化する。
- (6) 養豚農家の種豚改良を図るため、平成25年度より養豚経営安定対策事業の一環として、系統造成豚等利活用事業により石垣市に系統造成ランドレースのアイランド豚やデュロック等の優良種豚が本島より導入されてきたが、県内での豚熱発生に伴うワクチン接種によりワクチン未接種地域の離島においては、本島からの豚導入が不可能となり、県外からの導入コストが課題となっている。このようなか、令和2年7月にばいぬしま養豚振興協議会が発足し、当該事業をとおして養豚生産者の課題を把握し、経営安定と地元産豚肉消費拡大、伝染病防疫対策の連携強化等の活動により、今後の養豚業の振興を図っていく。
- (7) 八重山地区での令和2年度の県種雄牛人工授精用凍結精液の払い下げ本数は、5,593本で多くの八重山地域の子牛の種牛として使用されている。今後も県種雄牛の凍結精液を使った優良な子牛、枝肉の生産が期待される。
- (8) 畜産分野の表彰事例として、令和3年10～11月に開催された第47回沖縄県畜産共進会肉用牛部門において、若雌第2類で石垣市の福田真也氏の出品牛が優秀賞第4席を受賞した。また、肉牛部門において、(有)やえやまファームが出品した県種雄牛の「北百合平」産子の枝肉が、今大会から新設された脂肪の質賞を受賞した。

今後期待される県種雄牛(畜産研究センター)



名号「美百合」(父:百合白清2)
サシ・ロース芯・歩留基準値のゲノム育種価No. 1
気高系統



名号「北百合平」(竹富島産・父:北福波)
第12回全国和牛能力共進会(令和4年)の代表牛
枝肉重量の改良が期待される
糸桜系統



名号「百合北」(父:百合茂)
第12回全国和牛能力共進会(令和4年)の代表牛
脂肪の質の改良が期待される
気高系統



名号「茂北福」(父:北福波)
高いゲノム育種価と現場検定成績
糸桜系統



名号「球美乃花」(父:北福波)
安定した子牛の発育と枝肉成績
糸桜系統



名号「福福波」(父:北福波)
良好な枝肉成績
糸桜系統

令和2年末 主要家畜の飼養状況

単位:戸、頭、羽

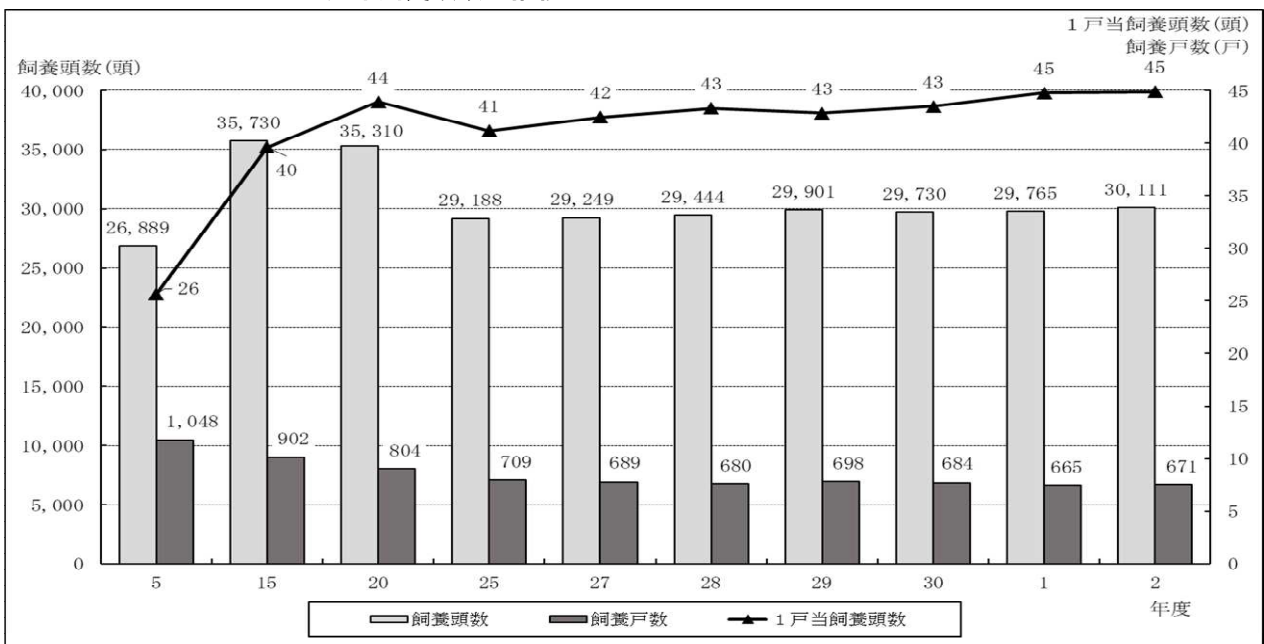
項目 地域別	肉用牛		乳用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー		馬		山羊		みつばち		
	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養羽数	飼養戸数	飼養羽数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養群数	
県計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
	2,274	74,257	63	4,231	266	212,359	291	1,375,027	20	459,770	119	603	1,368	11,984	925	20,510	
八重山計	29.5%	40.5%	9.5%	4.8%	9.0%	0.6%	15.5%	2.6%	10.0%	0.3%	43.7%	53.2%	14.9%	17.6%	5.4%	3.0%	
	671	30,111	6	201	24	1,193	45	36,380	2	1,300	52	321	204	2,112	50	613	
	石垣市	493	23,286	5	200	21	1,163	6	35,697	2	1,300	23	107	103	1,317	41	546
	竹富町	143	5,932	1	1	2	21	31	315	0	0	14	22	84	614	9	67
	与那国町	35	893	0	0	1	9	8	368	0	0	15	192	17	181	0	0
宮古	31.8%	18.1%	0.0%	0.0%	4.5%	0.3%	7.2%	2.4%	0.0%	0.0%	8.4%	9.6%	13.7%	11.8%	7.5%	4.5%	
	722	13,416	0	0	12	649	21	32,653	0	0	10	58	188	1,412	69	917	
本島	25.5%	22.3%	81.0%	82.6%	51.1%	50.2%	40.5%	57.0%	10.0%	0.7%	25.2%	19.7%	35.8%	39.9%	38.7%	35.3%	
	581	16,578	51	3,494	136	106,632	118	783,753	2	3,150	30	119	490	4,785	358	7,243	
北部	13.2%	19.1%	9.5%	12.7%	35.3%	48.9%	36.8%	38.0%	80.0%	99.0%	22.7%	17.4%	35.5%	30.7%	48.4%	57.2%	
	300	14,152	6	536	94	103,885	107	522,241	16	455,320	27	105	486	3,675	448	11,737	

八重山における主要家畜の飼養頭羽数の推移

単位:戸、頭、羽

項目 年度	肉用牛		乳用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー		馬		山羊		みつばち	
	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養羽数	飼養戸数	飼養羽数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養群数
平成10年度	961	36,140	4	376	18	6,395	45	59,128	-	-	74	391	162	1,177	-	-
平成20年度	804	35,310	7	218	12	3,532	48	55,089	1	800	54	353	118	822	4	35
平成29年度	698	29,901	7	222	16	5,876	52	43,586	3	2,225	80	450	207	1,831	29	394
平成30年度	684	29,730	7	230	16	5,197	43	41,645	3	2,215	52	287	220	1,920	32	371
令和元年度	665	29,765	6	221	14	3,771	36	33,650	2	2,000	52	285	196	2,037	23	347
令和2年度	671	30,111	6	201	24	1,193	45	36,380	2	1,300	52	321	204	2,112	50	613

八重山における肉用牛飼養頭数の推移



肉用牛飼養規模別農家数(令和2年末)

区分 市町名	1頭		2～9頭		10～19頭		20～29頭		30～39頭	
	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数
石垣市	1	1	101	602	106	1,530	90	2,179	48	1,657
竹富町	1	1	19	107	25	374	30	756	19	662
与那国町			12	64	11	144	5	118	3	108
合計	2	2	132	773	142	2,048	125	3,053	70	2,427

区分 市町名	40～49頭		50～99頭		100頭以上		計	
	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数
石垣市	19	844	80	5,518	48	10,896	493	23,227
竹富町	12	532	26	1,727	11	1,773	143	5,932
与那国町	2	93	1	80	1	286	35	893
合計	33	1,469	107	7,325	60	12,955	671	30,052

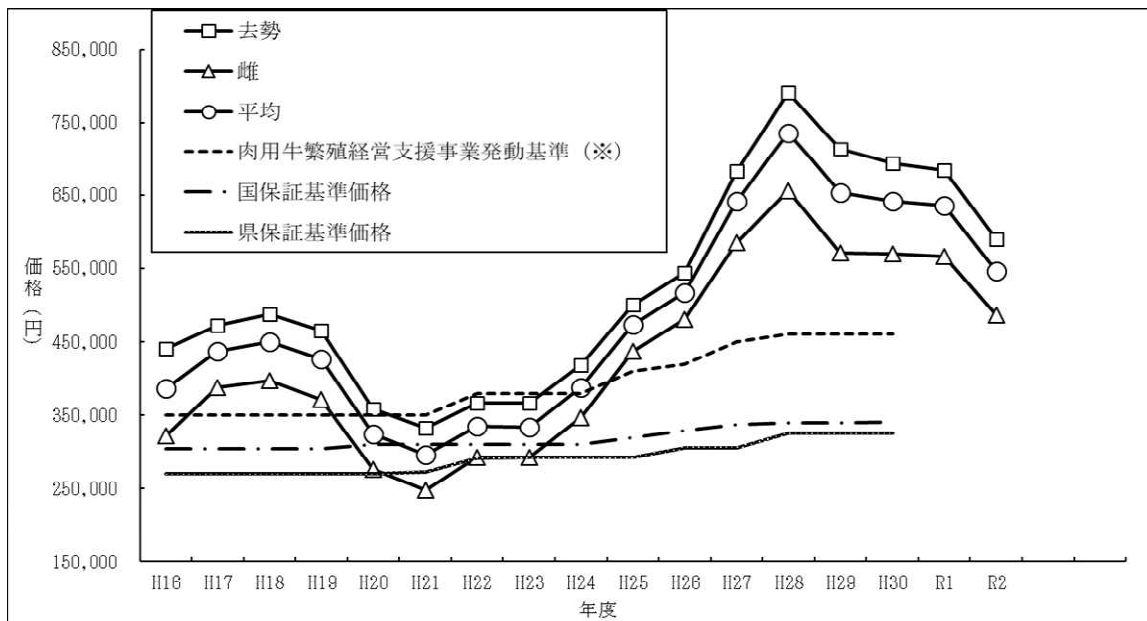
子牛のセリ市場実績(八重山、黒島合計)

年	項目 開場 回数	上場 頭数	成立頭数		売上金額 (千円)	1頭当 平均体重 (kg)	1頭当 平均価格 (千円)	生体1kg 当単価 (円)
			去勢	雌				
平成15年	18	10,141	5,618	4,405	3,924,016	261	392	1,502
平成20年	18	9,823	5,612	3,992	3,081,391	260	321	1,235
平成25年	18	9,205	5,271	3,921	4,182,530	256	455	1,775
平成26年	18	8,750	5,082	3,668	4,525,622	255	517	2,028
平成27年	18	8,862	5,100	3,762	5,410,058	260	610	2,452
平成28年	18	8,848	5,208	3,640	6,509,982	264	736	2,794
平成29年	18	8,990	5,261	3,729	5,866,229	267	653	2,444
平成30年	18	8,848	5,167	3,681	5,677,524	269	642	2,381
令和元年	18	9,089	5,262	3,748	5,718,732	269	635	2,355
令和2年	18	9,216	5,285	3,801	4,954,378	274	545	1,985

※平成10～23までは年次、24年以降は年度集計

資料:八重山家畜保健衛生所

八重山家畜市場の子牛価格推移



資料:八重山家畜保健衛生所

※平成21年度までは子牛生産拡大奨励事業
平成23年以前は年次、24年以降は年度値
平成30年12月事業終了

4 農業・畜産生産振興事業

(1) 経営構造対策（特定地域経営支援対策事業）

単位：千円

実施年度	市町村（地区名）	事業主体	事業内容	受益地区	総事業費
31	石垣市	沖縄県農業協同組合	果樹温室 9,870㎡	石垣第7地区	156,567
		沖縄県農業協同組合	野菜温室 4,104㎡	石垣第7地区	42,218
R2	石垣市	沖縄県農業協同組合	果樹温室 6,432㎡	石垣第8地区	100,427
		沖縄県農業協同組合	さとうきび収穫機械一式	大浜第二地区	55,165
R3	石垣市	有限会社 平安名	農畜産物集出荷貯蔵施設	名蔵地区	232,266
	石垣市	沖縄県農業協同組合	高生産性農業用機械施設（トラクター等一式）	石垣南第2地区	45,549

(2) 野菜振興対策

実施年度	市町村（地区名）	事業主体	事業内容	対象作物	総事業費
------	----------	------	------	------	------

ア. 沖縄県農業生産・経営対策事業

30	竹富町	竹富町	栽培講習会、 現地検討会（島内圃場）	かぼちゃ	338
				ばれいしょ	275
R1	竹富町	竹富町	栽培講習会、 現地検討会（島内圃場）	かぼちゃ	546
				ばれいしょ	113
R1	竹富町	竹富町	栽培講習会、 現地検討会（島内圃場）	かぼちゃ	547
				ばれいしょ	103

イ. 災害に強い栽培施設の設備事業

25	石垣市 （石垣地区）	沖縄県農業協同組合	強化パイプハウス	ゴーヤー	38,325
				ゴーヤー	18,165

ウ. 沖縄県園芸作物生産振興対策事業

27	竹富町	竹富町馬鈴薯生産組合	ばれいしょ選別機	ばれいしょ	1,422
30	竹富町	沖縄県農業協同組合	かぼちゃ選別機	かぼちゃ	3,246

(3) 果樹振興対策（沖縄県農業生産・経営対策事業）

実施年度	市町村（地区名）	事業主体	事業内容	対象作物	総事業費
27	石垣市（名蔵地区）	石垣市	種苗圃設置委託等	パインアップル	176
	竹富町（西表地区）	竹富町	技術の普及（栽培技術講習会）等	パインアップル	340

(4) 花き振興対策（自然災害に強い設備事業）

実施年度	市町村（地区名）	事業主体	事業内容	対象作物	総事業費
25	石垣市	赤石花卉生産組合	施設補強	レッドジンジャー	8,537

(5) 糖業対策（沖縄県さとうきび安定生産確立対策事業）

実施年度	市町村（地区名）	事業主体	事業内容	受益地区	総事業費
29	石垣市	(一財) 石垣市農業開発組合	中型ハーベスター、収納袋	石垣地区	59,648
	竹富町	沖縄県農業協同組合	小型ハーベスター、収納袋	波照間地区	59,285
			小型ハーベスター、収納袋	小浜地区	39,780
30	石垣市	(一財) 石垣市農業開発組合	中型ハーベスター、収納袋	大川地区	59,467
		沖縄県農業協同組合	大型株出管理機（4台）	宮良・白保・川平・平久保地区	12,518
	竹富町	沖縄県農業協同組合	中型ハーベスター、収納袋	西表大富・古見地区	59,467
R1	石垣市	(一財) 石垣市農業開発組合	中型ハーベスター、収納袋	登野城(1)地区	60,283
			中型ハーベスター、収納袋	平得地区	60,283
			中型ハーベスター、収納袋	伊野田(2)地区	60,283
			トラクター、リバーシブルラ、ローリー、ブームプレー	石垣地区	19,241
R3	石垣市	(一財) 石垣市農業開発組合	中型ハーベスター、収納袋	白保(2-2)地区	55,818
R3	竹富町	沖縄県農業協同組合	全茎式プランター、ブームスプレイヤー	西表島大原	7,900
	与那国町	沖縄県農業協同組合	小型ハーベスター、収納袋	嘉田地区	41,949

(6) 八重山地域畜産基地建設実施状況

	区域名	工事期間 所在地	主要事業	事業費 (百万円)	類型別経営体数	家畜飼養頭数(目標)
1	公団営 石垣第一	昭和51～昭和54 石垣市	草地造成 291 ha 畜舎 33 棟 農機具導入 175 台 家畜導入 492 頭	3,270	肉用牛公共牧場 1 肉用牛牧場 10 肉用牛牧場、養豚場 2 養豚場 1 計 14	肉用牛 3,024 頭 豚 1,676 頭
2	公団営 石垣第二	昭和55～昭和58 石垣市	草地造成 290 ha 畜舎 52 棟 農機具導入 320 台 家畜導入 610 頭	7,425	肉用牛牧場 12 肥育センター 1 肉用牛繁殖、養豚場 2 養豚場 4 養鶏場 2 酪農場 1 食肉センター 1 計 23	肉用牛 3,296 頭 乳用牛 318 頭 豚 6,249 頭 採卵鶏 47,828 羽
3	公団営 八重山第一	昭和59～昭和62 石垣市・竹富町	草地造成 250 ha 畜舎 19 棟 農機具導入 182 台 家畜導入 210 頭	4,539	肉用牛牧場 12 養豚場 5 養鶏場 1 食肉センター 1 計 19	肉用牛 2,031 頭 豚 1,874 頭 採卵鶏 20,210 羽
4	公団営 与那国	昭和61～平成3 与那国町	草地造成 193 ha 畜舎 28 棟 農機具導入 209 台 家畜導入 18 頭	3,746	肉用牛牧場 33 養豚場 1 家畜市場 1 計 35	肉用牛 2,453 頭 豚 419 頭 馬 33 頭
5	公団営 八重山第二	昭和63～平成4 石垣市・竹富町	草地造成 238 ha 畜舎 4 棟 農機具導入 118 台	3,190	肉用牛牧場 23 養豚 1 家畜市場 2 計 26	肉用牛 2,945 頭 豚 690 頭
6	公社営 竹富町第一	平成5～平成9 竹富町 (黒島)	草地造成 111 ha 畜舎 17 棟 農機具導入 41 台	1,392	肉用牛牧場 18 計 18	肉用牛 617 頭
7	公社営 ばいぬしま	平成10～12年 竹富町 (竹富島・西表島 小浜島・波照間島)	草地造成 54 ha 畜舎 19 棟 農機具導入 85 台	1,456	肉用牛牧場 21 家畜市場 1 計 22	肉用牛 1,571 頭
8	公社営 竹富町第二	平成10～13年 竹富町 (黒島)	草地造成 118 ha 畜舎 19 棟 農機具導入 51 台	1,550	肉用牛牧場 22 計 22	肉用牛 2,474 頭
9	公社営 ばいぬしま 第二	平成15～18年 竹富町 (黒島・西表島 小浜島・波照間島)	草地造成 92 ha 畜舎 12 棟 農機具導入 79 台	1,750	肉用牛牧場 27 家畜市場 1 計 28	肉用牛 2,450 頭
10	公社営 ばいぬしま 第三	平成19～21年 竹富町 (黒島・西表島 小浜島・波照間島)	草地造成 80.2 ha 畜舎 12 棟	1,017	肉用牛牧場 21 計 21	肉用牛 1,948 頭
11	公社営 やいま地区	平成25～28年 石垣市	草地造成 46.7 ha 草地整備 16.8 ha 畜舎 2 棟 農機具導入 12 台	630	肉用牛牧場 12 肥育センター 1 計 13	肉用牛 1,626 頭
	計	昭和51～平成28	草地造成 1,764 ha 草地整備 17 ha 畜舎 217 台 農機具導入 1,272 台 家畜導入 1,330 頭	29,965	肉用牛牧場 211 肉用牛牧場、養豚場 4 養豚 12 その他 14 計 241	肉用牛 24,435 頭 乳用牛 318 頭 豚 10,908 頭 鶏 68,038 羽 馬 33 頭

資料:八重山家畜保健衛生所

注1:6以降は畜産基盤再編総合整備事業、10から畜産担い手育成総合整備事業(旧畜産基盤再編総合整備事業)

5 家畜伝染病予防・病虫害防除・鳥獣被害防止対策事業

(1) 家畜衛生関係の事業概要(令和2年4月～令和3年3月)

1. 予防注射事業 家畜伝染病予防法第6条の規定に基づき実施する。

(牛)	牛流行熱	牛異常産三種混合	アカバネ病
実施頭羽数	381	957	97
(鶏)	ニューカッスル病		
実施頭羽数			

2. 家畜伝染病及び届出伝染性疾病発生状況

①家畜伝染病発生報告

家畜種類	病名	発生戸数	発生頭数	死亡頭数	殺頭数

②届出伝染性疾病発生報告

病名	家畜種類	発生戸数	発生頭数	死亡頭数	疑症
牛伝染性リンパ腫	牛	32	43	42	0
破傷風	牛	9	10	9	0
豚繁殖・呼吸器障害症候群	豚	1	1	1	0

③その他検査実績

	BSE検査	種畜衛生検査	導入牛検査	豚熱	オーエスキー病	アルボウイルス調査
頭数	111	14	143	166	93	170

3. 口蹄疫等侵入防止対策

八重山地域は、口蹄疫やアフリカ豚熱などの家畜伝染病汚染国である台湾や中国に隣接しているとともに、台湾・韓国からのクルーズ船や定期便、チャーター便の就航など国際的な人や物の往来の増加に伴い、家畜伝染病の侵入リスクが高いことが懸念されている。このような中、平成25年3月には新石垣空港、同年4月には石垣港が指定港化され、動物検疫所が携行品検査等を実施するなどの水際防疫が強化されている。

現在、クルーズ船や定期便、チャーター便は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大を受け寄港が停止しているが、これまでの管内における年間入域観光客数は、平成30年度において約140万人であり、うち竹富町の離島へは約105万人が訪れる観光地となっていることから、離島栈橋や各離島(竹富島、黒島、小浜島、西表島)では靴底用消毒マットが設置されている。さらに、各離島における初動防疫強化のため、防疫資材用備蓄コンテナを整備している。また、家畜伝染病が万が一発生した場合に備えて、平成23年度から毎年防疫演習を開催しており、初動防疫体制の強化に努めている。



【口蹄疫とは】

ピコルナウイルス科アフトウイルス属に分類される口蹄疫ウイルスの感染による急性熱性伝染病で、伝染力が強く、牛、水牛、豚、めん羊、山羊などの家畜をはじめ、野生動物を含むほとんどの偶蹄類動物が感染する。主症状は39℃以上の発熱、多量の泡沫性流涎(よだれ)がみられ、口、蹄、乳頭等に水疱やびらん・潰瘍が形成される。(下記写真参照)

牛の症状



口腔のただれ、多量のよだれ

舌の水疱

豚の症状



鼻鏡の水疱

足の皮膚のびらん

【ASF(アフリカ豚熱)とは】

アスファウイルス科に分類されるアフリカ豚熱ウイルスによる急性から慢性の熱性伝染病で、豚やイノシシ等、イノシシ科動物に感染する。2018年8月以降、中国各地で発生している。典型的な臨床症状はなく、発熱、食欲不振等の一般的な症状で始まり、結膜炎、呼吸障害、便秘に次ぐ下痢、四肢痙縮等神経症状が現れる。致死率はウイルスの病原性により0～100%まで様々である。(写真参照)

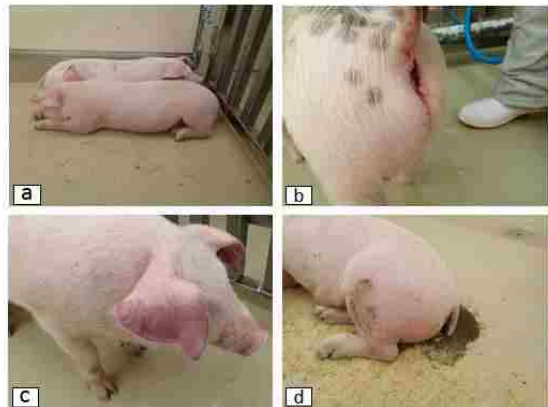


写真 2. アフリカ豚コレラウイルスに感染した豚
a: 発熱、元気消失、食欲不振を示して壁際に寄り添うようにうずくまる。
b: 直腸体温測定後の肛門からの鮮血。
c: 耳翼の紅斑。
d: 下痢。

【令和2年度特定家畜伝染病防疫演習の様子】

管内は、地域の実情を鑑みた防疫演習を平成23年度から継続的に実施している。令和2年1月にうるま市で本県33年ぶりとなる豚熱の発生が確認され、約1万2千頭の豚の殺処分、延べ2万3千人あまりの人員が動員される事態となった。これを踏まえ、第1部は「豚熱発生時の初動防疫」をテーマに講義を実施、第2部は「豚熱発生時の防護服着脱・模擬豚を使った殺処分実演」をばいぬしま養豚振興協議会と共催で実施した。生産農家ははじめ、八重山農林水産振興センター各課・市町・関係機関等の参加者へ豚熱発生時の対応・防疫作業の流れについて説明し情報の共有を図った。

第一部



第二部



【令和3年度特定家畜伝染病防疫演習の様子】

令和2年11月から令和3年3月にかけて、高病原性鳥インフルエンザが18県52事例発生し、殺処分数は過去最大の約987万羽に上るなど猛威を振るいました。これを踏まえ、R3年度は高病原性鳥インフルエンザが管内で発生した想定のもと、防疫作業について机上演習を行った。生産農家ははじめ、八重山農林水産振興センター各課・市町・関係機関等の参加者へ発生時の迅速な対応・防疫作業について説明し、防疫体制の確認・強化を図った。



(2) 特殊病害虫特別防除事業

① ミバエ根絶事業

【ウリミバエ】

ウリミバエは大正8年(1919)に八重山群島で発見されて以来、分布域を拡大し、農作物に大きな被害を与え、農業振興上の障害となった。

沖縄県によるウリミバエの根絶防除は、昭和47年(1972)本土復帰を契機に始まり、久米島、宮古群島、沖縄群島での根絶達成後、八重山群島では、昭和56年から薬剤による被害軽減防除を実施、平成元年(1989)9月には、八重山群島ウリミバエ不妊虫放飼センターを建設、同年10月から密度抑圧防除に着手した。平成2年(1990)1月から不妊虫放飼防除を開始し、9,000万頭/週(石垣市4,000万、竹富町4,400万、与那国町600万)の航空放飼を行った。平成5年(1993)には確認調査(5月～8月)を実施し、その結果、公聴会(同年10月8日)等の手続きを経て、植防法施行規則が改正(10月29日付、同30日施行)され、八重山群島はウリミバエの発生地域から除外された。このことは、大正8年(1919)ウリミバエの発見以来、実に74年ぶりのことである。

■ ウリミバエの分布拡大と根絶

	侵入(分布)	防除開始	根絶
八重山群島	大正8年(1919年)	平成2年1月(1990年)	平成5年10月(1993年)
宮古群島	昭和4年(1929年)	昭和59年8月(1984年)	昭和62年11月(1987年)
久米島	昭和45年(1970年)	昭和50年2月(1975年)	昭和53年9月(1978年)
沖縄群島	昭和47年(1972年)	昭和61年11月(1986年)	平成2年11月(1990年)
奄美群島	昭和49年(1974年)	昭和60年9月(1985年)	昭和62年11月(1987年)

【ミカンコミバエ】

ミカンコミバエは、ウリミバエと同様に大正8年(1919)に発生が確認された後、本土復帰を契機に根絶防除が開始された。根絶防除は誘殺剤を吸着させた誘殺板を用い、ヘリから投下する航空防除、住宅地等では誘殺板を吊り下げる地上防除が行われ、昭和61年(1986)八重山群島の根絶を最後に沖縄県全域から一掃された。

② ウリミバエ・ミカンコミバエ侵入防止事業

ウリミバエ・ミカンコミバエ根絶後、再侵入を防止するため侵入防止事業を実施している。



ウリミバエ



ミカンコミバエ

■ 八重山群島におけるウリミバエ侵入防止対策概要

	石垣市・竹富町	与那国町
不妊虫生産	大量増殖施設でウリミバエの蛹を生産し、不妊化施設でコバルト60放射線(γ線)を照射し不妊化する。	
蛍光色素	黄色: サタンイエロー	白色: インビシブル・ブルー
飼育保管	八重山放飼センター内保冷コンテナ	—
放飼方法	・成虫冷却航空放飼 ・放飼当日低温(2～5℃)	地上放飼 (放飼力所数: 100箇所)
放飼不妊虫数	隔週放飼 3,600万頭/回 毎週放飼 2,800万頭/回	300万頭/回
防除面積	38,795ヘクタール	2,888ヘクタール
防除時期	・隔週放飼: 4月・10月～3月 ・毎週放飼: 5月～9月	

■ 八重山群島におけるミカンコミバエの侵入防止

防除方法	防除地域	実防除面積 (ha)	防除回数 (回)	延べ防除面積 (ha)	1ha当薬剤量 (枚)	総薬剤量 (枚)
地上防除	八重山群島	2,174	6	8,496	3	25,488
航空防除	石垣市	12,500	4	50,000	2	100,000
	竹富町	11,254	4	45,016	2	90,032
	与那国町	2,757	4	11,028	2	22,056

③ ウリミバエ・ミカンコミバエ侵入警戒調査

侵入防止事業の効果を確認するためトラップ調査と寄主植物調査を実施している。トラップは八重山群島で104個設置し、年26回、定期寄主植物調査は年2回実施している(令和2年度)。

(3) 特定重要病害虫防除対策事業

① 八重山地域のナスミバエ発生状況

昭和59年6月、与那国島において、我が国で初めてナスミバエの寄生果実が発見された。平成16年度からナスミバエまん延防止防除事業により平成23年8月に根絶したところであるが、平成30年7月に発生が確認されている。

平成22年12月沖縄本島で発生が初確認されて以降、平成25年度から発生地域が拡大傾向となり、令和元年度、石垣市、竹富町においても発生が確認されている。

ナスミバエは、植物防疫法による移動規制対象害虫のミカンコミバエと異なり、急激にまん延して大きな農業被害をもたらすものではなく、通常防除が行われていればほとんど被害がないと判断されています。



② カンキツグリーニング病防除対策

カンキツグリーニング病は、昭和63年(1988)西表島において発見され、その後、平成5年(1993)、沖縄本島で発生が確認された。平成9年(1997)の植物防疫法改正により、沖縄県からの果実を除く寄主植物及び媒介昆虫であるミカンキジラミの本土への移動が規制されている。

沖縄県による防除対策は、カンキツ園、庭木のカンキツ類を対象に、現地調査とサンプル収集及び検定を実施し、発生状況の調査を行っている。また、チラン・リーフレットによる啓発活動、罹病樹の所有者の了解を得ての伐採処分の実施及び伐採指導等の総合的な対策を実施している。

八重山地区では、平成23年度からは一斉調査は行わず、持ち込み診断の呼びかけを行い、カンキツグリーニング病の認知度アップや伐採率向上を目指している。

■ カンキツグリーニング病罹病樹伐採状況

単位:本

地域別	令和2年度持込診断・重点調査			累計(H24~令和2年度)		
	サンプリング数	罹病樹	伐採樹	罹病樹	伐採樹	未伐採樹
八重山計	0	0	0	3	0	0
石垣市	0	0	0	0	0	0
竹富町	0	0	0	0	0	0
与那国町	0	0	0	0	0	0

(4) 鳥獣被害防止対策事業

八重山地区の各地域では地域協議会や鳥獣被害対策実施隊を設置し、鳥獣被害防止総合対策事業等により被害軽減に努めている。

令和2年度八重山地区における鳥獣種類別被害面積・金額

市町	鳥獣種類名	主な被害作物種類名	被害面積(a)	被害額(円)
石垣市	カラス	野菜	0.5	11,408
	イノシシ	パインアップル、さとうきび、水稲、かぼちゃ、かんしょ	80.0	1,506,307
	キジ	水稲、かぼちゃ、かんしょ	5.2	118,506
	その他鳥類(クジャク・カモ類)	水稲、かぼちゃ、かんしょ	3.5	69,419
	石垣市 計			89
竹富町	カラス	パインアップル	160.0	226,100
	イノシシ	パインアップル、さとうきび、水稲	277.0	644,883
	その他鳥類(カルガモ)	水稲	1.0	10,000
	竹富町 計			438
八重山地区 計			527	2,586,623

※令和2年度 野生鳥獣による農作物の被害状況調査票(畜産被害を除く)から引用(市町村報告値)

令和2年度鳥獣被害防止総合対策事業

市町	事業実施主体	事業内容	総事業費(円)
石垣市	石垣市有害鳥獣対策協議会	推進事業: 捕獲活動	1,576,000
		整備事業: -	-
		事業費計	1,576,000
竹富町	竹富町有害鳥獣対策協議会	推進事業: 捕獲活動	670,000
		整備事業: 猪侵入防止柵	4,573,184
		事業費計	5,243,184

※令和2年度鳥獣被害防止対策総合対策事業実績から引用(市町村協議会報告値)

狩猟者登録証交付状況

	種 別				交付件数(計)
	網猟	わな猟	第1種銃猟	第2種銃猟	
平成28年度	0	162	72	9	243
平成29年度	0	167	70	10	247
平成30年度	0	169	70	9	248
令和元年度	0	165	66	10	241
令和2年度	0	183	77	10	270

※狩猟者登録証交付実績より

有害鳥獣捕獲(駆除)許可状況

	捕獲許可件数
平成28年度	73
平成29年度	82
平成30年度	140
令和元年度	142
令和2年度	93

※自然保護課、石垣市、竹富町、令和2年度有害鳥獣等捕獲許可実績報告より

狩猟及び有害鳥獣捕獲(駆除)による捕獲数量

	イノシシ	カモ類	バン	キジバト	カラス類	スズメ	クジャク	その他	捕獲数計
平成27年度	1,119	282	20	133	913	1	260	583	5,225
平成28年度	1,306	201	21	143	1,231	0	588	1,238	4,728
平成29年度	1,465	323	30	51	1,306	0	545	784	4,504
平成30年度	1,540	174	3	15	2,231	0	1,310	1,989	7,262
令和元年度	1,485	185	0	21	1,909	0	1,013	1,333	5,946
令和2年度	1,578	312	0	34	3,116	0	991	1,417	7,448

※八重山農林水産整備課WISシステム、自然保護課 令和2年度捕獲実績報告より

注: 「その他」にハト、キジ等

6 農業農村整備の概要

(1) 八重山における農業農村整備状況

令和2年度末の沖縄県における農業生産基盤の整備状況は、水源・かんがい施設の要整備面積38,600haに対して、整備率は水源が62.6%、かんがい施設の整備率は50.4%となっている。また、ほ場要整備面積32,800haに対して、63.8%の整備率、勾配修正等による赤土等流出防止施設の要整備面積は17,600haに対して36.9%の整備率となっている。

これに対して八重山における農業生産基盤の整備状況は、水源・かんがい施設の要整備面積7,986haに対して、その整備率は水源が62.7%、かんがい施設の整備率は54.7%となっている。また、ほ場は要整備面積4,918haに対して、71.9%の整備率、赤土等流出防止施設は要整備面積4,402haに対してその整備率は68.4%となっている。八重山圏域は県内他地域と比べ整備率が高く、農業振興に大きく貢献している。引き続き、未整備地域を整備促進していくこととしている。

【語句の説明】

『農業用水源整備』：ダムや貯水池など農業用水の水源を整備すること。

『かんがい施設整備』：スプリンクラー・給水栓などの散水施設を整備すること。

『ほ場整備』：畑や水田を整備すること。

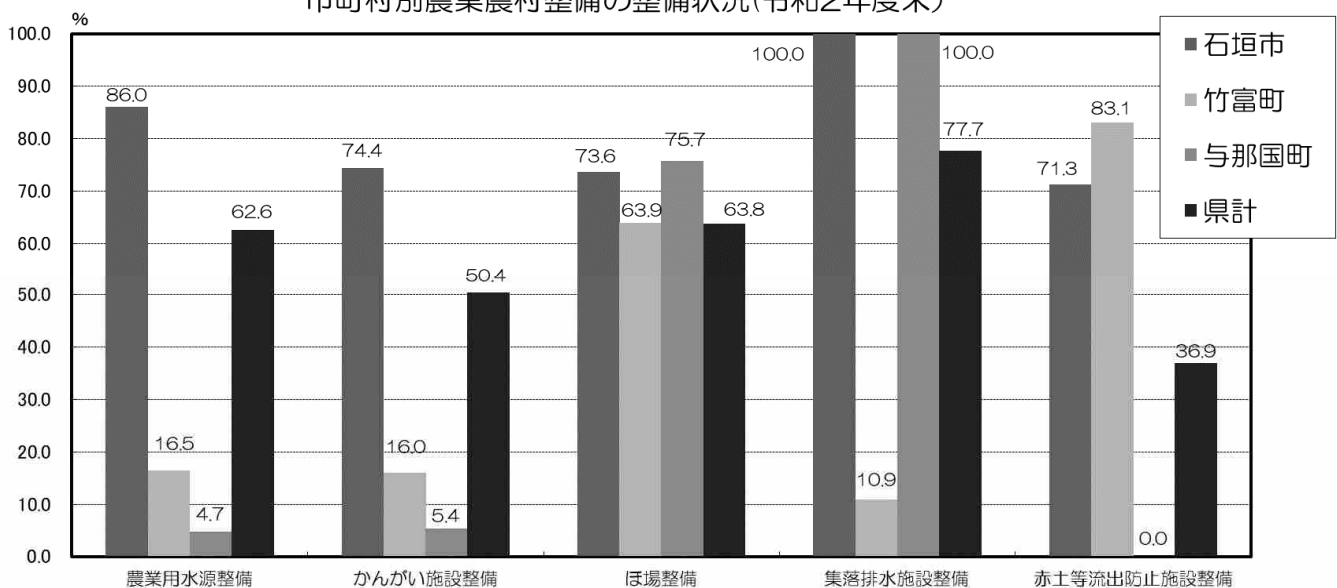
『集落排水施設整備』：農村集落内の生活排水処理（下水処理施設）等を整備すること。

年度	農業用水源整備(ha)			かんがい施設整備(ha)			ほ場整備(ha)			集落排水施設整備(人)			赤土等流出防止施設整備(ha)			
	要整備量	整備済	整備率	要整備量	整備済	整備率	要整備量	整備済	整備率	要整備量	整備済	整備率	要整備量	整備済	整備率	
23	8,137	4,925.5	60.5	8,137	4,190.9	51.5	5,098	3,404.1	66.8	13,070	9,061.0	69.3	4,402	2,722.4	61.8	
24	8,137	4,959.3	60.9	8,137	4,244.8	52.2	5,098	3,411.6	66.9	13,070	9,061.0	69.3	4,402	2,884.3	65.5	
25	8,137	5,003.3	61.5	8,137	4,255.8	52.3	5,098	3,425.0	67.2	13,070	9,061.0	69.3	4,402	3,009.1	68.4	
26	8,137	5,003.3	61.5	8,137	4,278.3	52.6	5,098	3,435.4	67.4	13,070	9,061.0	69.3	4,402	3,009.1	68.4	
27	7,986	5,003.3	62.7	7,986	4,285.4	53.7	4,918	3,453.7	70.2	13,070	9,061.0	69.3	4,402	3,009.1	68.4	
28	7,986	5,003.3	62.7	7,986	4,307.3	53.9	4,918	3,470.1	70.6	11,711	8,807.0	75.2	4,402	3,009.1	68.4	
29	7,986	5,003.3	62.7	7,986	4,317.9	54.1	4,918	3,494.4	71.1	11,711	8,807.0	75.2	4,402	3,009.1	68.4	
30	7,986	5,003.3	62.7	7,986	4,338.4	54.3	4,918	3,504.2	71.3	11,711	8,807.0	75.2	4,402	3,009.1	68.4	
R1	7,986	5,003.3	62.7	7,986	4,352.2	54.5	4,918	3,515.2	71.5	11,711	8,807.0	75.2	4,402	3,009.1	68.4	
令和2年度	石垣市	5,390	4,637.8	86.0	5,390	4,008.1	74.4	3,582	2,637.8	73.6	7,089	7,403.0	100.0	3,549	2,528.8	71.3
	竹富町	2,060	340.1	16.5	2,060	329.1	16.0	943	603.0	63.9	3,714	406.0	10.9	578.0	480.3	83.1
	与那国町	536	25.4	4.7	536	28.8	5.4	392	297.1	75.7	908	998.0	100.0	275	0.0	0.0
	圏域計	7,986	5,003.3	62.7	7,986	4,366.0	54.7	4,918	3,537.9	71.9	11,711	8,807.0	75.2	4,402	3,009.1	68.4
	県計	38,600	24,156.7	62.6	38,600	19,448.8	50.4	32,800	20,929.4	63.8	100,320	77,905.0	77.7	17,600	6,495.7	36.9

※農業集落排水施設整備について、「ちゅら水プラン2016」に合わせ、平成28年度実績見込みより要整備量等を見直した。

※農業集落排水施設の要整備量は人口推移を勘案したR17推計処理人口であり、整備済処理人口を超えた市町村は100%で表示している。

市町村別農業農村整備の整備状況(令和2年度末)



(2) 農業生産基盤の整備

亜熱帯特性等生かした特色ある農林水産業の振興を図るため、地域特性に適合した生産基盤を推進する。



スプリンクラー



浸透池



区画整理

番号	地区名	市町村	事業主体	受益面積 (ha)	全体		工期
					事業量	事業費 (千円)	
水利施設整備事業【農業用水を確保し活用するとともに、排水不良農地を解消する】							
1	上原1期	竹富町	県	134.1	溪流取水工 2ヶ所、貯水池工 2基、管路工 L=11,525m、小水力発電施設 1基、畑地かんがい施設 III型給水所 1基	3,003,508	H26-R5
2	大座	石垣市	県	52.0	畑地かんがい、A=52.0ha	511,500	H26-R5
3	大浜	石垣市	県	150.6	畑地かんがい、更新 A=150.6ha	1,737,000	H28-R5
4	大里・星野	石垣市	県	81.5	畑地かんがい、A=81.5ha	1,208,000	H28-R7
	小計	4地区		-		6,460,008	
基幹水利施設管理事業(県営)【基幹的で大規模な農業用水利施設の適正な管理を行う】							
5	底原	石垣市	県	-	底原ダム管理 一式	-	H9~
6	川良原	石垣市	県	-	平喜名堰管理 一式	-	H9~
7	名蔵	石垣市	県	-	名蔵ダム管理 一式	-	H11~
	小計	3地区		-		-	
基幹水利施設管理事業(団体営)【基幹的で小規模な農業用水利施設の適正な管理を行う】							
8	平喜名	石垣市	市	-	平喜名揚水機場管理 一式	-	H9~
	小計	1地区		-		-	
農地整備事業(畑地帯担い手育成型・畑地帯担い手支援型)【複数の土地改良事業を、総合的・一体的に実施する】							
9	南帆安	与那国町	県	52.6	区画整理 A=52.6ha	2,767,500	H23-R6
10	大座	石垣市	県	52.1	区画整理 A=52.1ha	1,922,000	H24-R6
11	島仲	与那国町	県	49.8	区画整理 A=49.8ha	1,738,100	H26-R5
12	伊野田北	石垣市	県	20.2	区画整理 A=20.2ha	1,485,000	R2-R8
	小計	4地区		-		7,912,600	
農地整備事業(経営体育成型)【農地の区画を整理するとともに、耕作放棄地を解消する】							
13	米節東	石垣市	県	22.1	区画整理 A=22.1ha、畑地かんがい A=23.7ha	1,106,229	H20-R4
14	与那良原	竹富町	県	20.7	区画整理 A=20.7ha	906,000	H25-R3
	小計	2地区		-		2,012,229	
団体営農業基盤整備促進事業【農地・農業水利施設等の整備を実施し、生産効果の向上を図り、農業競争力の強化を図る】							
15	石垣第5	石垣市	区	26.0	農業用排水施設 L=269.5m、暗渠排水 A=8.26ha、土層改良 A=17.24ha	187,737	H29-R3
16	伊野田南	石垣市	市	28.4	農業用排水施設28.4ha、区画整理 A=10.4ha	742,100	H29-R4
17	大野	石垣市	市	14.8	農業用排水施設14.8ha、区画整理 A=14.8ha	887,000	R1-R5
18	栄第2	石垣市	市	11.5	農業用排水施設11.5ha、区画整理 A=10.8ha	903,000	R2-R6
19	嘉手苅第2	石垣市	市	7.5	農業用排水施設7.5ha	135,000	R2-R6
	小計	5地区		-		2,854,837	
水利施設等保全高度化事業(簡易整備型)【水利利用の効率化・水管理の省力化に向けた整備を行う】							
20	川平	石垣市	市	7.2	農業用排水施設7.2ha	292,000	R3-R7
	小計	1地区		-		292,000	

国営造成施設管理体制整備促進事業(管理体制整備型)【農業水利施設の多面的機能を発揮させ、管理体制の整備を図る】							
21	石垣島	石垣市	県・市	4,220.0	-	1,346,976	H30-R4
	小計	1地区		-		1,346,976	
水利施設整備事業(補助金事業)※基盤整備促進事業【農業水利施設等の整備により、生産効率の向上及び農業競争力の強化を図る】							
22	崎枝第2	石垣市	市	12.3	農業用排水施設 A=12.3ha	209,000	H30-R4
	小計	1地区		-		209,000	
県営通作条件整備事業(保全対策型)【通作や農産物の安定的搬出のため、農道の機能保全を図る】							
23	石垣2期	石垣市	県	396.8	農道工改修 L=6.00km、附帯工一式	367,115	R1-R5
	小計	1地区		-		367,115	
団体営通作条件整備事業【通作や農産物の安定的搬出のため、農道の機能保全を図る】							
24	登野城	石垣市	市	410.0	農道工改修 L=6.19km 附帯工 一式	675,000	R3-R7
		1地区				675,000	
	計	24地区		-	県営15地区18,098,928千円、団体営10地区4,030,837千円	22,129,765	

(3) 農地及び農業用施設の保全

農作物や農業用施設を台風などの災害から未然に防止する防風林帯等の保全整備を推進する。



沈砂池



水兼農道



防風林

番号	地区名	市町村	事業主体	受益面積 (ha)	全体		工期
					事業量	事業費 (千円)	
県営農地保全整備事業(防風施設)【暴風から農地等の被害を防ぐ】							
1	みやらがわ第5	石垣市	県	97.5	防風施設 L=3,362m	210,100	H25-R4
2	みやらがわ第6	石垣市	県	86.3	防風施設 L=4,369m	519,200	H26-R5
	小計	2地区		-		729,300	
県営農地保全整備事業(農地浸食防止)【農用地の浸食崩壊を防ぐ】							
3	川原	石垣市	県	62.9	農地保全 A=62.9ha、農業用排水施設、A=62.9ha	1,441,400	H27-R6
4	大里	石垣市	県	41.5	農地保全(農道・排水路等) A=41.5ha	408,400	H28-R6
5	星野	石垣市	県	42.0	農地保全(農道・排水路等) A=35.6ha、ほ場整備(勾配修正等) A=42.0ha	1,069,000	H28-R6
	小計	3地区		-		2,918,800	
農地耕作条件改善事業【中間管理機構と連帯し、担い手への農地集約の推進や高収益作物への転換を図る】							
6	平田原	石垣市	区	22.5	農業用排水施設(給水栓) 22.5ha	111,200	R1-R3
7	野呂水	石垣市	市	7.3	営農環境整備支援 2.5ha、農作業道 1335m	105,700	R1-R3
8	シーラ	石垣市	市	20.3	営農環境整備支援 1.4ha、農作業道 2340m、管理省力化支援 265m	150,800	R1-R3
9	大嵩	石垣市	市	8.2	農業用排水施設 8.0ha、農作業道 809m	229,000	R3-R5
	小計	4地区		-		596,700	
農業水路等長寿命化・防災減災事業【機能保全計画に基づき適切な補修・更新等を行い、かんがい用水の安定的な供給を図る】							
10	石垣島第2	石垣市	区	1,560.0	畑地かんがい施設更新一式	315,000	H30-R2
11	石垣島第3	石垣市	区	3,627.0	揚水機場関連施設分解整備及び更新一式、配水池付帯設備更新一式、沈砂池及び浸透池転落防止施設更新一式	330,000	H30-R2
12	立田神	与那国町	町	25.5	貯水池改修一式	507,000	R1-R3
13	いしがきじま	石垣市	区	943.0	Ⅲ型機能診断 一式、Ⅲ型更新 一式	45,400	R2-R4
14	白原・底名	竹富町	町	161.0	貯水池改修 一式、畑地かんがい排水施設更新 一式	91,000	R2-R4
15	石垣島第6	石垣市	区	211.8	畑地かんがい施設更新一式	300,000	R3-R5
16	波照間1号	竹富町	県	107.0	貯水池改修 一式、揚水機場 一式	50,000	R3-R5
	小計	7地区		-		1,638,400	
	計	16地区		-	県営6地区 3,698,100千円、団体営10地区 2,185,100千円	5,883,200	

(4) 農山漁村の地域社会の維持・向上

地域共同で行う地域資源（農地、水路、農道等）の多面的機能を支える活動及び高齢化や人口減少が著しい中山間地域等における農業生産活動に対する支援、地域の活性化を図るための地域住民活動を推進する人材の育成に対する支援を行う。



農道管理



排水路管理



ふるさと基金活動

番号	地区名	市町村	事業主体	受益面積 (ha)	全体		工期
					事業量	事業費 (千円)	
多面的機能支交付付金事業【集落活動による、農地周りの水路、農道の長寿命化の活動を支援する】							
1	石垣地区	石垣市	活動組織	742.2	道路路肩・法面の草刈作業等	-	R1-R5
2	石垣第2地区	石垣市	活動組織	3444.4	道路路肩・法面の草刈作業等	-	R1-R5
3	上原西表地域	竹富町	活動組織	25.3	道路路肩・法面の草刈作業等	-	H30-R4
	小計	3地区		-		-	
中山間地域等直接支払事業【集落活動による農業生産活動や体制整備活動を支援する】							
4	与那国地区	与那国町	活動組織	180.0	道路路肩・法面の草刈作業等	-	R2-R6
5	上原西表地域	竹富町	活動組織	25.3	道路路肩・法面の草刈作業等	-	H29-R3
	小計	2地区		-		-	
ふるさと農村活性化基金事業【地域住民活動の活性化を図ること、土地改良施設の多面的機能のPRを目的とする】							
7	野底	石垣市	県	-	野底ついで祭り開催、農業体験を通じた地域リーダーの育成	-	H30-R4
8	伊原間	石垣市	県	-	伊原間集落の伝統行事、農業体験を通じた地域リーダーの育成	-	R2-R6
9	祖納	与那国町	県	-	小学校児童を対象とした農業体験により、農業への理解を深める	-	R2-R6
	小計	3地区		-		-	
農業集落排水事業【下水道の適正な施設運営、維持管理を図る】							
10	波照間	竹富町	町	600.0	污水处理施設機械一式、中継ポンプ等一式	257,000	R1-R5
	小計	1地区		-		257,000	
農業経営高度化支援事業【農地利用集積の促進】							
11	米節東	石垣市	区	22.1	農家意向調査調整活動費、農地集団化調整活動費	28,900	H20-R6
12	大座	石垣市	市	52.1	農家意向調査調整活動費、農地集団化調整活動費	36,000	H24-R6
13	与那良原	竹富町	町	20.7	農家意向調査調整活動費、農地集団化調整活動費	21,900	H24-R5
14	伊野田北	石垣市	市	20.2	農家意向調査調整活動費、農地集団化調整活動費	23,000	R2-R8
	小計	4地区		-		109,800	
	計	13地区		-		366,800	

(5) 赤土等流出防止対策

沖縄県は、侵食性の高い土壌が広く分布し、降雨強度が高く、また河川から海域までの延長が短く急な地形が多いなどの自然条件から、土壌侵食に対する危険性の高い地域となっている。そのため、雨が降ると赤土等が大量に流れ出し、河川・海域を赤く染める「赤土等流出」が、水域の生態系、水産業、観光産業などへ悪影響を及ぼしており、重大な環境問題の一つとなっている。

平成7年には「沖縄県赤土等流出防止条例」を施行して、一定以上の開発行為に対し規制を設ける等、赤土対策を強化してきたが、既存農地等については条例の規制対象外であり、赤土等の流出防止対策にかかる個々の農家の費用負担や労力の問題があるために、対策が難しい状況にある。

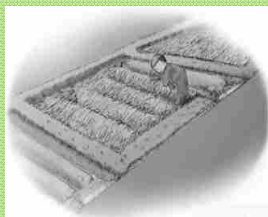
そのため、県では農地からの赤土等流出防止対策を重要な課題とし、その対策を図るため、ハード・ソフト対策の連携を取りつつ、カバークロップ(被覆植物)の導入や「土壌保全の日」の活動を通して農家への赤土等流出対策の啓発・普及等を実施してきた。平成14年度から平成16年度には「流域環境保全農業確立体制整備モデル事業」を石垣市轟川流域を対象に「モデル試行対策」を実施し、平成17年度から平成19年度には石垣島全域を対象に「土地利用者参加による赤土等流出総合対策開発事業」を実施している。現在は、平成19年度に策定された「石垣島赤土等流出防止農地対策マスタープラン」の数値目標を達成するために、営農対策及び土木対策により総合的な赤土等流出防止に取り組むとともに、平成22年度には「竹富町赤土等流出防止農地対策マスタープラン」が西表島と小浜島で策定され、離島地域の赤土等流出防止推進を図っている。

営農対策

土木対策



グリーンベルト



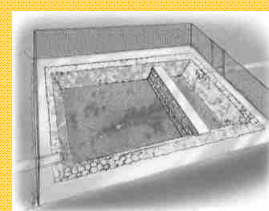
葉ガラ



緑肥



勾配修正



沈砂池



排水路

番号	地区名	市町村	事業主体	受益面積 (ha)	全体		工期
					事業量	事業費 (千円)	
県営水質保全対策事業(耕土流出防止型)【農地からの耕土流出を防ぐ】							
1	白保	石垣市	県	218.8	排水路工 L=11,270m、グリーンベルト工 L=10,265m 畦畔工 L=3,650m、浸透池工 8基	983,000	H24-R3
2	新川第4	石垣市	県	124.8	排水路工 L=11,165m、グリーンベルト工 L=13,955m、土層改良工 A=20.0ha 沈砂池工 1基、浸透池工 6基	1,099,000	H25-R4
	計	2地区		-		2,082,000	

赤土等流出防止のための様々な対策(工種)



浸透池



グリーンベルト (ゲットウ)



勾配修正



グリーンベルト (ベチバー)

7 気象災害

【令和3年 台風第6号】

令和3年7月18日に日本の南の海上で発生した台風6号は、7月20日から24日にかけて沖縄県全域に襲来した。

最大風速は久米島空港で7月24日8時51分に南東の風27.2m/s、北大東で7月20日12時41分に東の風26.8m/s、下地島で7月23日9時41分に北東の風25.3m/sなどを観測した。

最大瞬間風速は下地島で7月23日8時37分に北東の風38.6m/s、石垣島で7月23日14時15分に北北西の風38.1m/s、久米島空港で7月24日8時45分に南東の風36.5m/sなどを観測した。

7月19日0時から25日9時までの総雨量は、国頭で365.5mm、久米島空港で327.5mm、東で316.5mmなどを観測した。

台風第6号による被害状況(耕種・畜産・水産業)の概況

①八重山地域

被害額：千円

項目		石垣市	竹富町	与那国町	合計
耕種	さとうきび	62,721	8,789	224	71,734
	野菜	12,296	0	0	12,296
	果樹	5,381	440	0	5,821
	計	80,398	9,229	224	89,851
畜産	計	0	0	0	0
水産業	漁港護岸等	0	200	0	200
	計	0	200	6,000	6,200
合計		80,398	9,429	6,224	96,051

②市町村別

【石垣市】

項目		被害面積等 (ha)	被害量 (トン・千本)	被害額 (千円)	備考
耕種	さとうきび	1,563.6	2,851.1	62,721	被害率3.0%
	野菜	7.3	20.9	12,296	オクラ、にがうり等
	花き	7.2	0.0	6,600	切花類(その他)
	果樹	5.2	20.0	5,381	パインアップル等
	計	1,583.3	2,892.0	86,998	
畜産	計	0	0	0	
水産業	施設等被害	0.0	1件	540	クルマエビ養殖水車13基
	計			540	
合計		1,583.3		87,538	

【竹富町】

項目		被害面積等 (ha)	被害量 (トン・千本)	被害額 (千円)	備考
耕種	さとうきび	470.9	399.5	8,789	被害率1.5%
	果樹	0.5	1.1	440	パインアップル等
	計	471.4	0.0	9,229	
畜産	計	0	0	0	
水産業	漁港護岸等		2件	2,000	漁港施設
	計	0.0	0.0	0	
合計		471.4	400.0	9,229	

【与那国町】

項目		被害面積等 (ha)	被害量 (トン・千本)	被害額 (千円)	備考
耕種	さとうきび	109.3	10.2	224	被害率0.2%
	計	109.3	10.2	224	
畜産	施設等被害	0	1件	6,000	畜舎増築部分倒壊
	計	0	0	6,000	
林業	計	0.0	0.0	0	
水産業	計	0.0	0.0	0	
合計		109.3	10.2	224	

【令和3年 台風第14号】

令和3年9月7日09時にフィリピンの東で発生した台風14号は、9月12日10時頃から12日18時頃にかけて与那国島に襲来した。

最大風速は所野（与那国空港）で9月12日11時36分に南南東の風29.5m/s、与那国島（与那国町祖納）で12日14時13分に南の風27.2m/s、石垣島（石垣市登野城）で12日10時14分に南の風23.6m/sなどを観測した。

最大瞬間風速は与那国島（与那国町祖納）で9月12日11時08分に南の風45.4m/s、所野（与那国空港）で12日11時32分に南南東の風43.7m/s、石垣島（石垣市登野城）で12日10時17分に南の風33.2m/sなどを観測した。

9月10日0時から13日11時までの総雨量は、石垣島（石垣市登野城）で142.5mm、西表島（竹富町上原）で140.5mm、所野（与那国空港）で125.0mmなどを観測した。

台風第14号による被害状況(耕種・畜産・水産業)の概況

①八重山地域

被害額：千円

項目		石垣市	竹富町	与那国町	合計
耕種	さとうきび	15,335	1,333	3,698	20,366
	野菜	6,171	0	0	6,171
	計	21,506	1,333	3,698	26,537
畜産	計	0	0	0	0
水産業	施設等被害	0	0	430	430
	漁港護岸等	1,000	0	1,000	2,000
	計	1,000	0	1,430	2,430
合計		22,506	1,333	5,128	28,967

②市町村別

【石垣市】

項目		被害面積等 (ha)	被害量 (トン・千本)	被害額 (千円)	備考
耕種	さとうきび	1,495.0	697.1	15,335	被害率0.8%
	野菜	4.9	7.8	6,171	オクラ、にがうり
	計	1,499.9	704.9	21,506	
畜産	計	0	0	0	
水産業	漁港護岸等		1件	1,000	浮棧橋 ガイドブロック等
	計			1,000	
合計		1,499.9		22,506	

【竹富町】

項目		被害面積等 (ha)	被害量 (トン・千本)	被害額 (千円)	備考
耕種	さとうきび	421.8	60.6	1,333	被害率0.2%
	計	421.8	0.0	1,333	
畜産	計	0	0	0	
水産業	計	0.0	0.0	0	
合計		421.8	400.0	1,333	

【与那国町】

項目		被害面積等 (ha)	被害量 (トン・千本)	被害額 (千円)	備考
耕種	さとうきび	99.9	168.1	3,698	被害率3.8%
	計	99.9	168.1	3,698	
畜産	施設等被害	0	-	430	畜舎屋根、外壁等
	計	0	0	430	
林業	計	0.0	0.0	0	
水産業	漁港護岸等	0	1件	1,000	臨港道路 照明灯、架台
	計	0.0	0.0	1,000	
合計		99.9	168.1	4,698	